

## 第8章 ネットモニター調査結果

### 1 概況等

#### (1) 調査対象者の属性

表 性別・年齢構成

		(%)				
性別	(n)	男性	女性			
今回調査	326	50.9	49.1			

		(%)				
年齢構成	(n)	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳
今回調査	326	20.6	19.9	20.6	20.6	18.4

#### (2) 家族等への介護および関わりについて

- モニター対象者の介護経験については、「現在」「過去」合わせて17.8%が『介護した経験がある』、となっています。また「今後介護をする可能性ある」とする回答は42.0%であり、モニター全体の約6割は今後も含め介護に直面することを想定しています。(問6)
- 介護に直面することを想定した際に、42.7%は『負担や悩みを感じる』としており、具体的には「家族等に介護が必要となった状態等、将来の見通しに不安がある」(63.8%)、「医療や介護に係る費用の見通しがわからず、経済的な不安がある」(47.9%)が多くなっています。(問9、問10)
- 今後、家族等の介護をするようになった場合の協力、相談先については、「家族・親族」が69.5%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が46.0%と約半数、「医師、医療機関」(31.0%)、「高齢者よろず相談センター(地域包括支援センター)」(26.3%)の順となっており、65歳未満の市民においても、地域包括支援センターへの期待が高まってくることが想定されます。(問12)
- 家族等が望む医療やケアについて話し合う機会については、4人に一人(25.4%)が「話し合いをしている」となっており、「男性60-64歳」、「女性45-49歳」では、それぞれ4割を超えています。(問13)

### (3) 介護と仕事の両立について

- 今後、家族等の介護をするようになった場合の仕事の継続については、4人に一人(24.9%)が「続けられると思う(続けている)」となっており、「男性」では「女性」に比べて40代後半以降、「続けられると思う(続けている)」の割合が高い傾向がみられます。(問14)
- 介護をするようになって、仕事を継続する条件としては、「要介護者が施設等に入所し、自宅で介護をする必要がなければ続けられると思う」が53.8%で最も多く、次いで「自宅で介護保険のサービスが受けられれば、仕事を続けられると思う」が31.9%となっています。(問15)
- 介護者の負担や悩みを和らげるために必要と思う理解や支援については、「経済的負担軽減への支援」が60.6%で最も多く、「介護に対する職場の理解」(48.4%)、「介護と医療を切れ目なく提供できる仕組み」(47.9%)が続いています。(問16)
- 社会保障費が増大する中、今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険サービスについては、「ホームヘルパー等に家に来てもらい、食事・入浴等の介護を受けるサービス」が46.9%で最も多く、「老人ホームに入所して、食事・入浴等の介護を受けるサービス」が41.4%と約4割となっており、在宅介護サービスの充実が施設入所サービスの充実を上回る結果となっています。(問11)

### (4) 介護業界について

- 介護業界に対するイメージについては、「体力的にきつい業界だと思う」が77.3%、「給与水準が低いと思う」が67.2%と、約7割となっています。介護業界で働く意向については、「選択肢の一つとして考えられる」「検討可能性あり」を合わせて11.0%となっています。(問17、問18)

### (5) 平塚市高齢者よろず相談センター(地域包括支援センター)について

- 平塚市高齢者よろず相談センター(地域包括支援センター)の認知状況については、「所在」は27.0%、「できること」は20.9%、「利用している人」は13.5%、「認知症窓口」は20.6%、「高齢者虐待」は19.0%が「知っている」となっており、いずれの項目も「知らない」が上回っています。(問20)

### (6) 本人自身が高齢期を迎えることについて

- 高齢期に備えて大切と思う取組については、「健康維持・体力づくり」が69.9%、「日々の節約、貯蓄」が56.1%の順となっており、健康面、生計面を重視する項目が多い結果となっています。(問21)
- 人生100年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組むべきことについては、「身体介護や生活援助などの介護保険サービスの充実」が52.1%で最も多く、次いで「家族介護者への支援」(50.9%)、「移動手段の確保などの外出支援」(47.9%)の順となっています。(問23)
- 人生の最期を迎える場所の希望は、「自宅」が45.4%、「病院」が18.4%、「介護施設」が8.0%の順となっています。一方、「わからない」が27.6%となっています。(問25)

### (7) 自身の退職後の暮らしについて

- 現在就労する者のうち、退職後、地域の集まりや地域活動への参加意向のある割合(「ぜひ参加したい」「誘われたら参加したい」の合計)は、40.5%となっています。(問29)

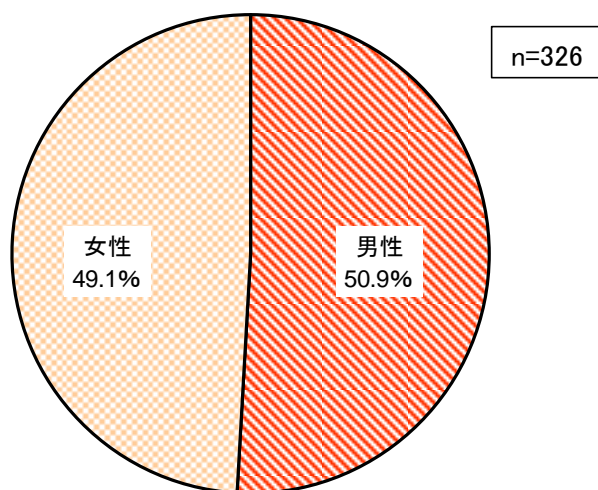
## 2 各設問の結果

### (1) 調査対象者の属性

問1 あなたの性別をお答えください。

回答者の性別は、「男性」は50.9%、「女性」は49.1%となっています。

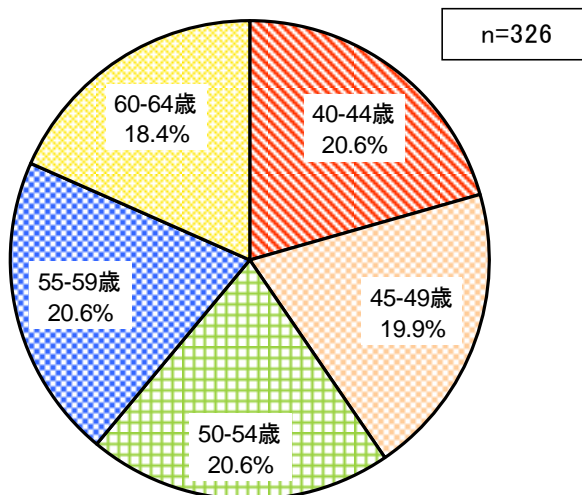
図表 8.1 性別



問2 あなたの年齢をお答えください。

回答者の年齢構成は、「40～44歳」は20.6%、「45～49歳」は19.9%、「50～54歳」は20.6%、「55～59歳」は20.6%、「60～64歳」は18.4%となっています。

図表 8.2 年齢



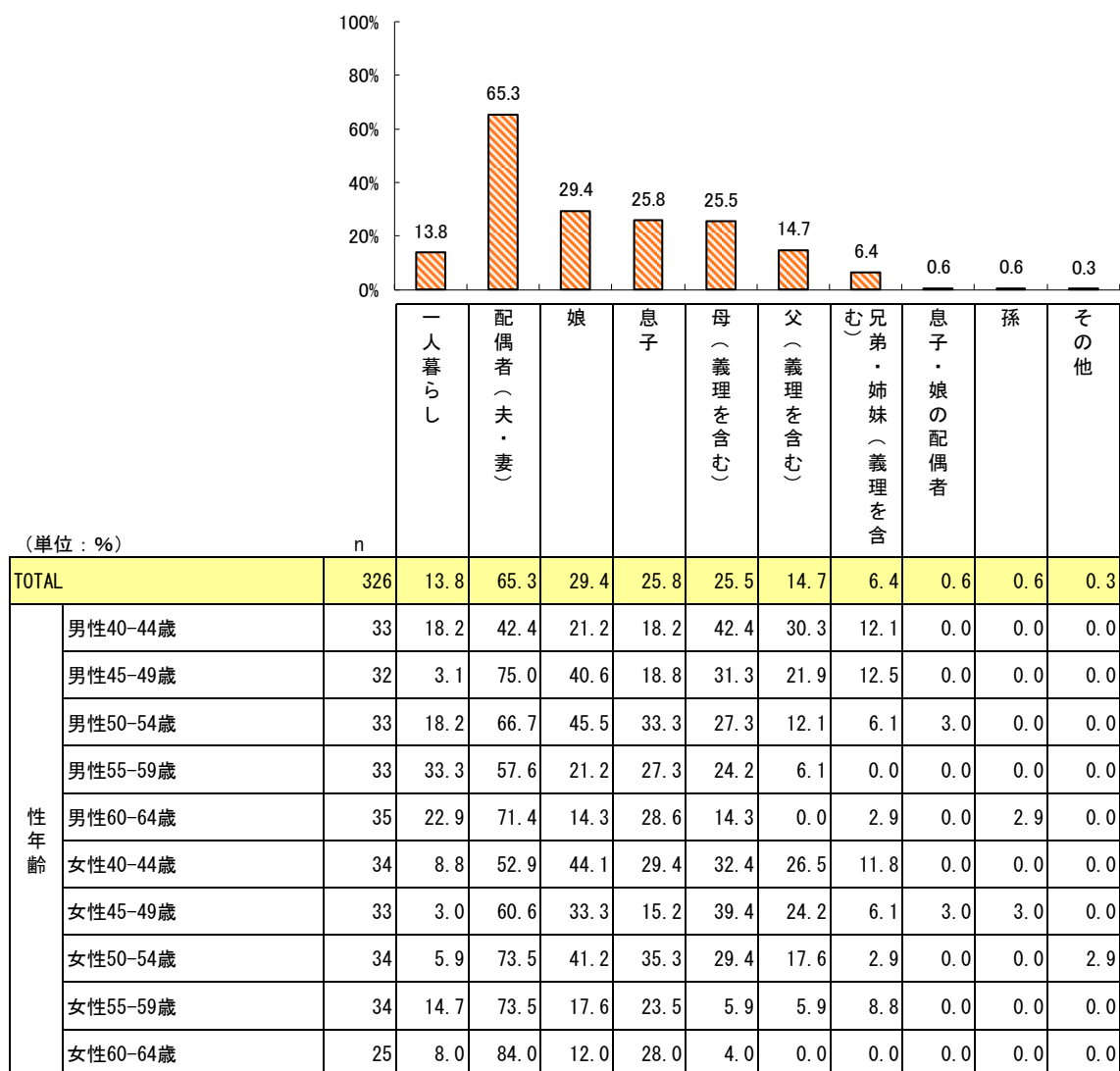
問3 あなたの居住地をお答えください。(回答は1つ)

この問は、「平塚市」、「平塚市以外」をたずねることで、市内の方だけに回答してもらうようにするものです。そのため、統計的な処理は行いません。

問4 あなたには同居者がいらっしゃいますか。(回答はいくつでも)

同居者の有無については、「一人暮らし」(13.8%)を除き、86.2%が『同居者がいる』となっており、「配偶者(夫・妻)」が65.3%で最も多く、次いで「娘」が29.4%、「息子」が25.8%、「母(義理を含む)」が25.5%の順となっています。

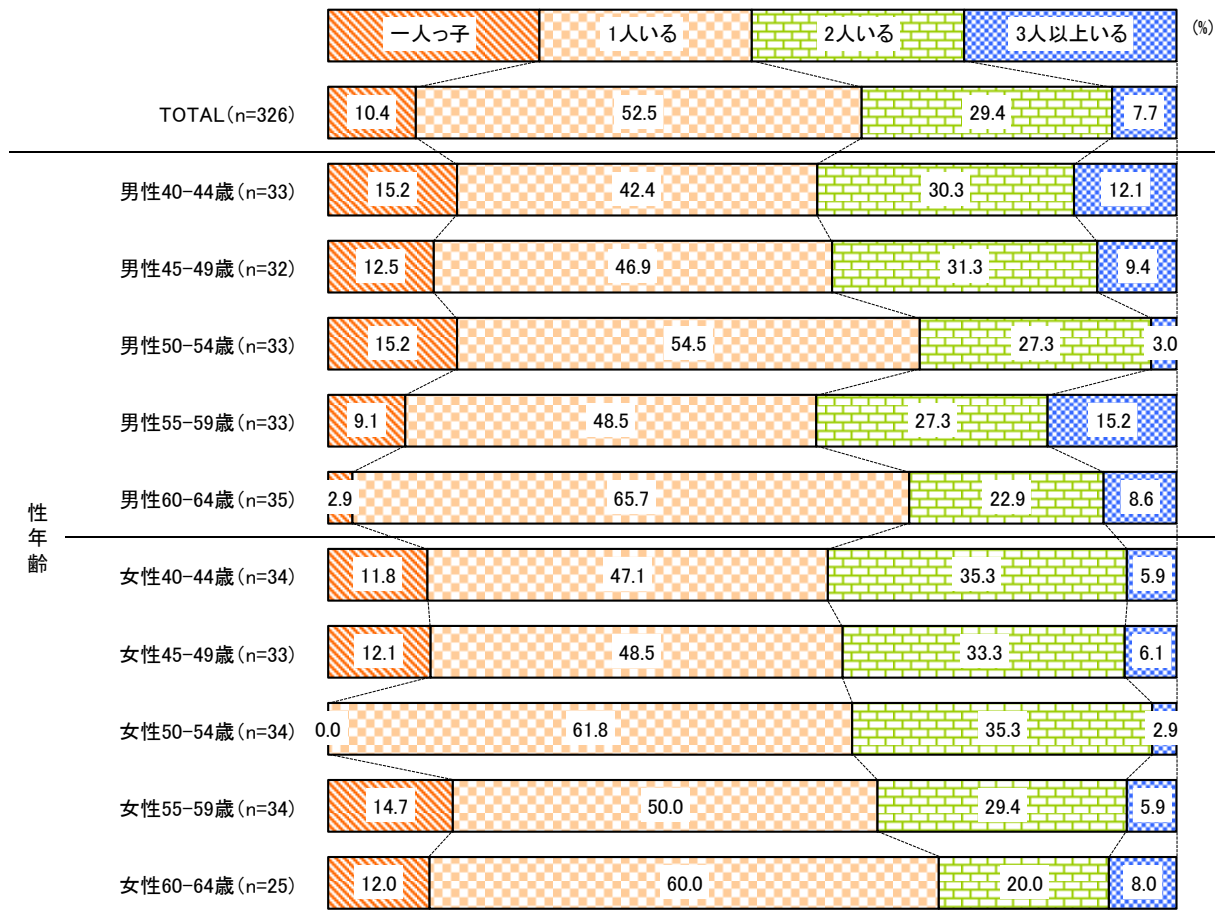
図表 8.3 同居者の有無



問5 あなたには兄弟姉妹はいらっしゃいますか。同居・別居は問いません。(回答は1つ)

兄弟姉妹の有無については、「1人いる」が52.5%で最も多く、「2人いる」が29.4%、「3人以上いる」が7.7%となっています。一方、「一人っ子」は10.4%となっています。

図表 8.4 兄弟姉妹の有無

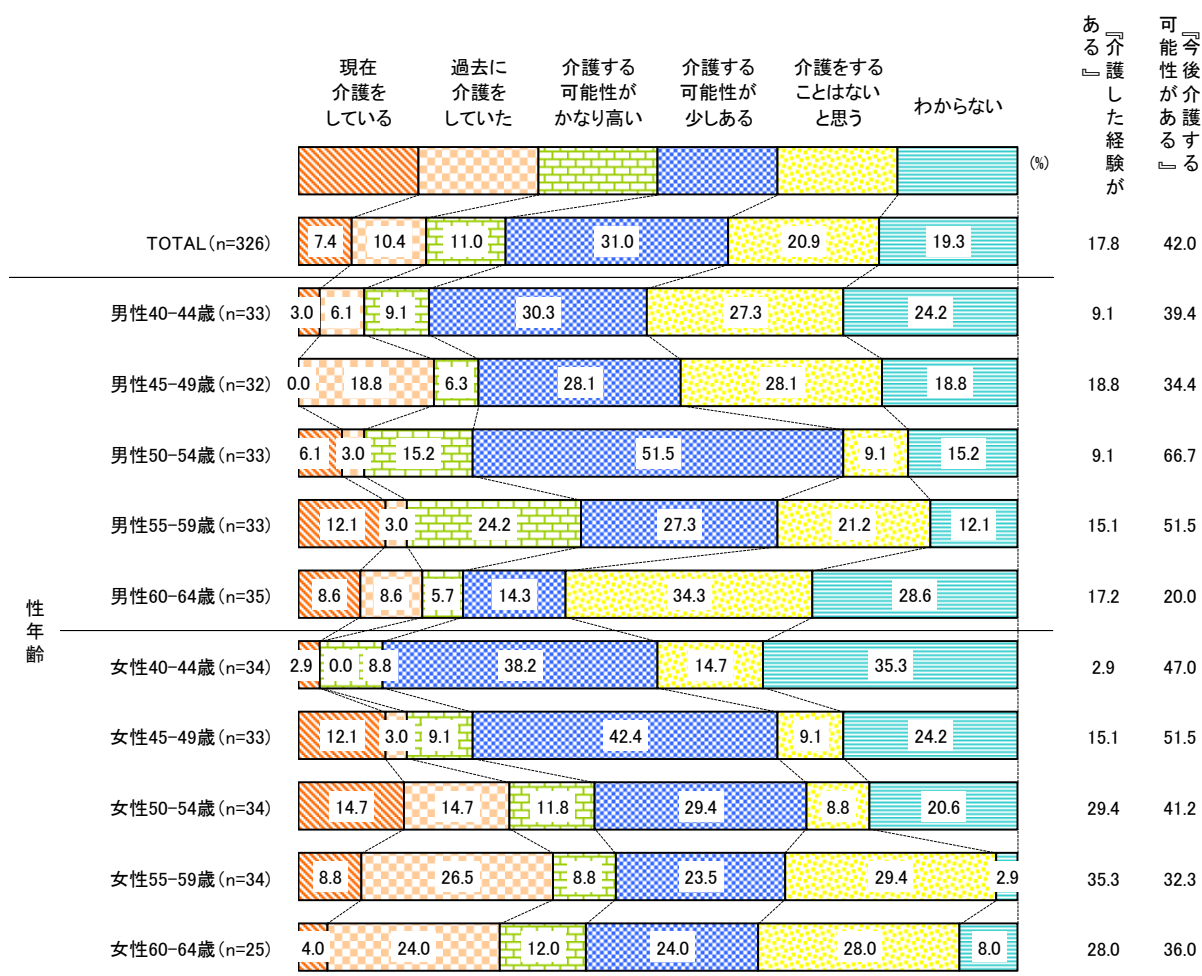


(2) 家族等への介護および関わりについて

問6 あなたは、現在介護をしていますか。また、近いうちに介護をすることになると思いますか。(回答は1つ)

現在の介護状況については、「現在介護をしている」(7.4%)、「過去に介護をしていた」(10.4%)を合わせて、『介護した経験がある』は17.8%となっています。また、「介護する可能性がかなり高い」(11.0%)、「介護する可能性が少しある」(31.0%)を合わせて、『今後介護する可能性がある』が42.0%となっています。

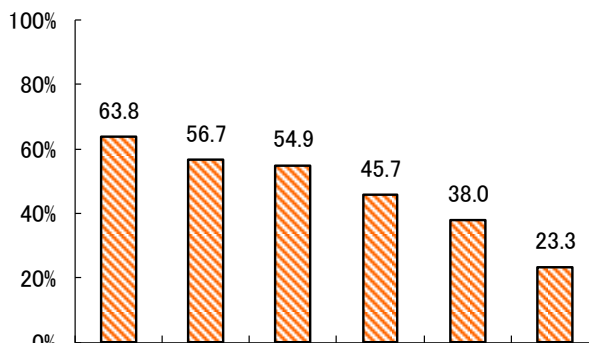
図表 8.5 現在の介護状況



問7 「介護保険」についてどのようなことを知っていますか。(回答はいくつでも)

介護保険については、「介護保険サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある」が63.8%で最も多く、次いで「要介護度別にサービス利用限度額や、サービスの種類に違いがある」(56.7%)、「40歳以上の人介護保険料を負担する」(54.9%)がともに5割台となっています。

図表 8.6 介護保険についての認知



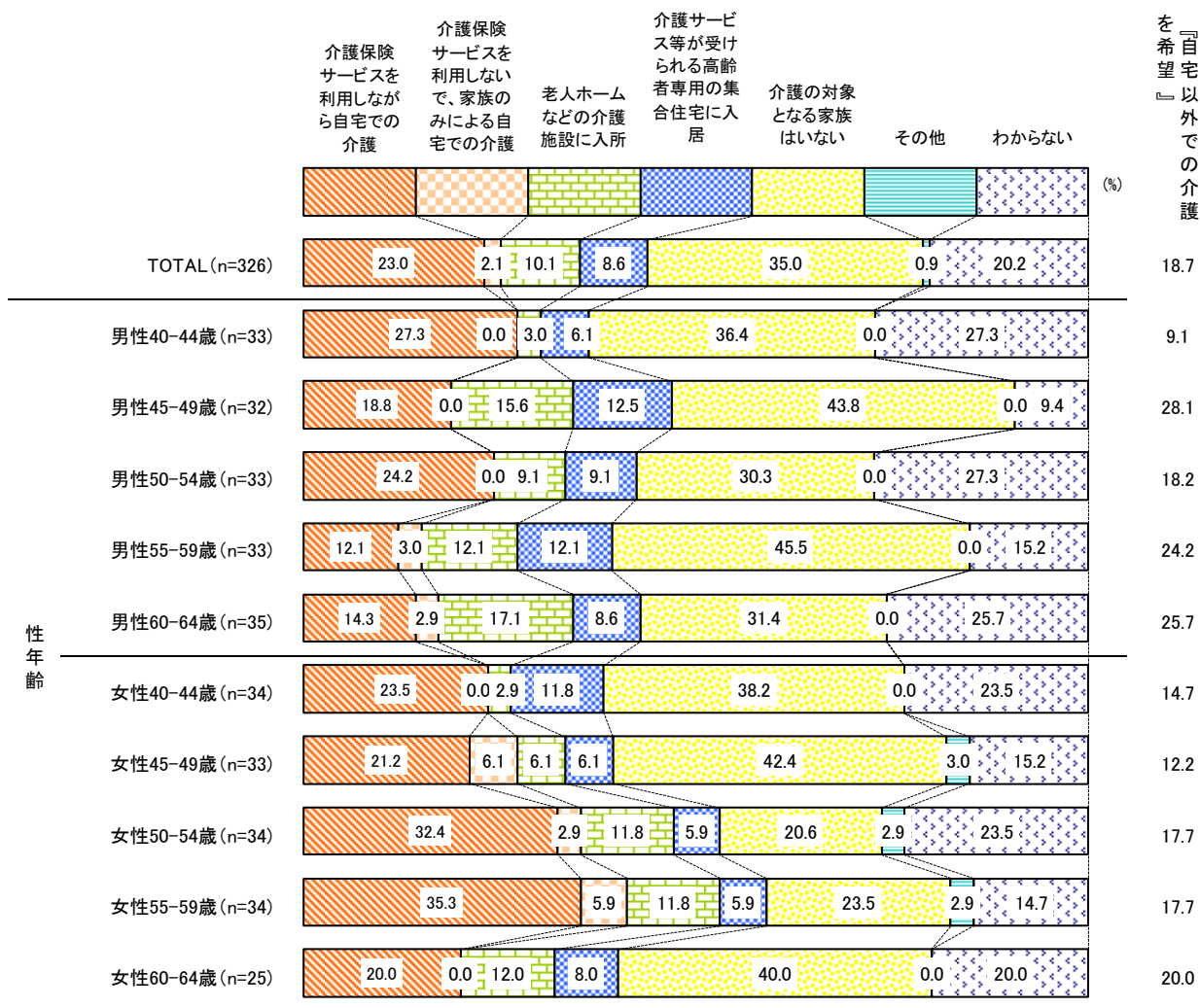
		n	63.8	56.7	54.9	45.7	38.0	23.3		
		(単位: %)	あるは、要介護認定を受ける必要がある	介護保険サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある	要介護度別にサービス利用限度額や、サービスの種類に違いがある	40歳以上の人介護保険料を負担する	2割または3割を自己負担する	介護保険サービスを利用できる	介護保険サービスは、自由に業者を選び、契約を結んだうえで利用できる	どれも知らない
TOTAL		326	63.8	56.7	54.9	45.7	38.0	23.3		
性 年 齢	男性40-44歳	33	45.5	39.4	36.4	27.3	27.3	45.5		
	男性45-49歳	32	53.1	37.5	53.1	40.6	34.4	34.4		
	男性50-54歳	33	60.6	48.5	66.7	33.3	27.3	15.2		
	男性55-59歳	33	63.6	51.5	51.5	45.5	36.4	24.2		
	男性60-64歳	35	68.6	60.0	42.9	42.9	34.3	17.1		
	女性40-44歳	34	55.9	50.0	55.9	35.3	26.5	29.4		
	女性45-49歳	33	57.6	51.5	54.5	45.5	36.4	33.3		
	女性50-54歳	34	76.5	70.6	52.9	52.9	47.1	14.7		
	女性55-59歳	34	76.5	79.4	61.8	61.8	58.8	11.8		
	女性60-64歳	25	84.0	84.0	80.0	80.0	56.0	4.0		



問8 あなたは、家族等にどのような介護をしていますか。または、したいと思いますか。  
(回答は1つ)

家族への介護については、希望も含め、「介護保険サービスを利用しながら自宅での介護」が23.0%、「介護保険サービスを利用しないで、家族のみによる自宅での介護」が2.1%と、自宅での介護を希望する割合が25.1%となっています。一方、「老人ホームなどの介護施設に入所」(10.1%)、「介護サービス等が受けられる高齢者専用の集合住宅に入居」(8.6%)と、入所、入居の『自宅以外での介護を希望』する割合が18.7%となっています。

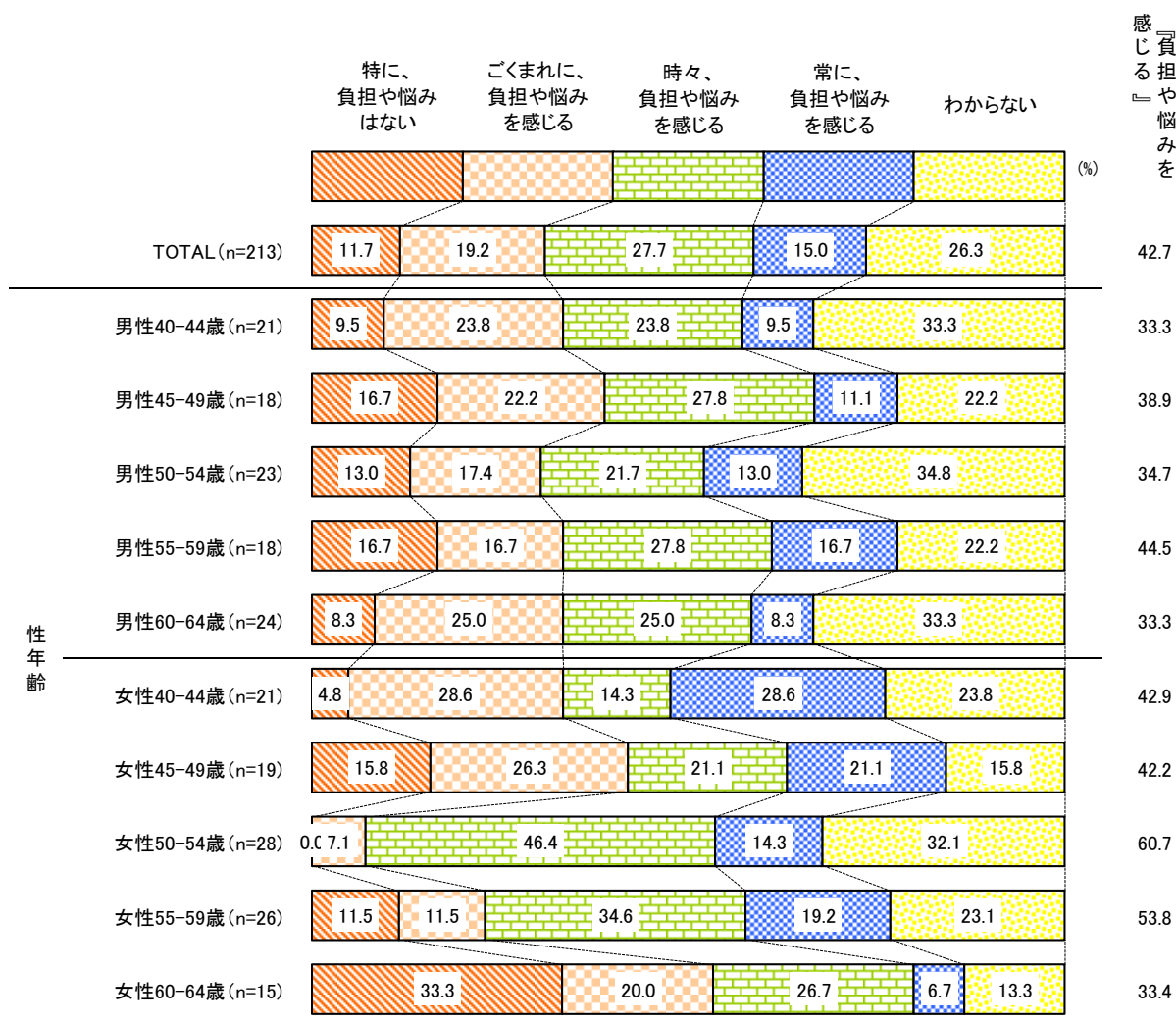
図表 8.7 家族への介護



問9 あなたは現在または将来、家族等の介護をすることについて、負担や悩みを感じますか。  
(回答は1つ)

現在または将来、家族等の介護をすることについて、「時々、負担や悩みを感じる」、「常に、負担や悩みを感じる」を合わせた『負担や悩みを感じる』は42.7%と半数を超えています。

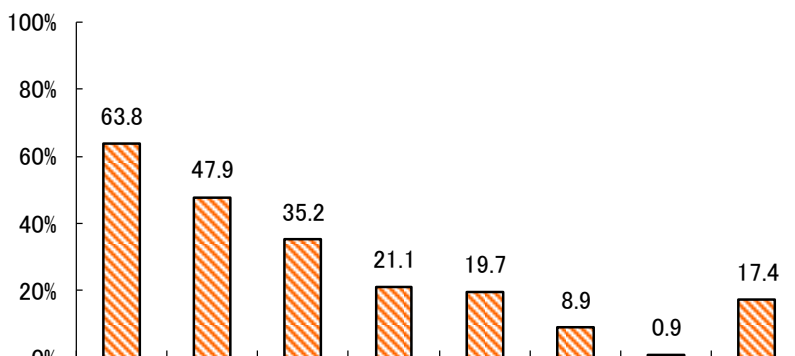
図表 8.8 家族等の介護をすることについて負担や悩みを感じるか



問10 あなたは、介護にどのような不安を感じますか。(回答はいくつでも)

介護について不安に感じることは、「家族等に介護が必要となった状態等、将来の見通しに不安がある」が63.8%で最も多く、次いで「医療や介護に係る費用の見通しがわからず、経済的な不安がある」が47.9%、「介護と仕事を両立できるかわからない」が35.2%の順となっています。

図表 8.9 介護について不安に感じること

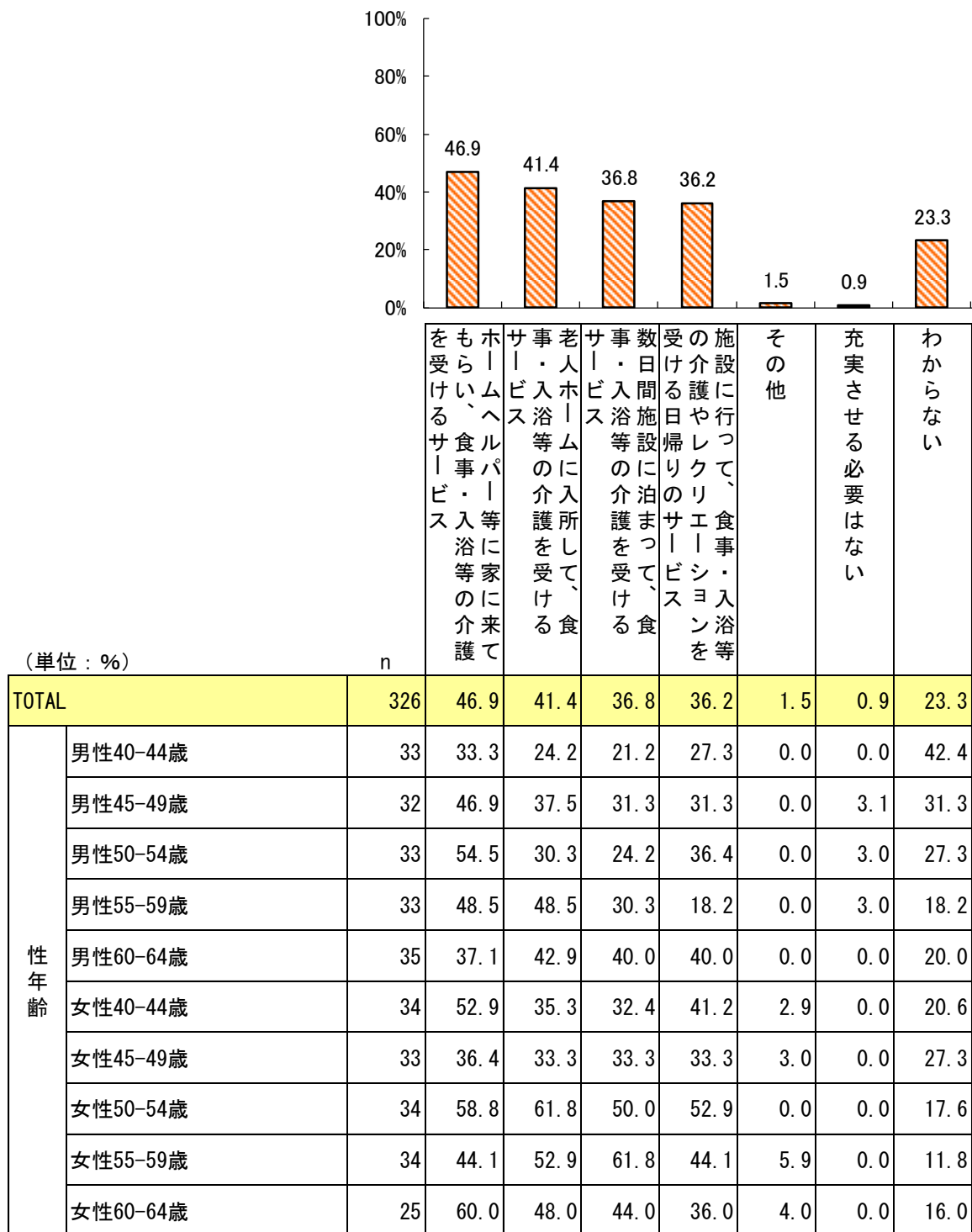


		見通しに不安がある	家族等に介護が必要と	経済的な不安がある	医療や介護に係る費用	介護と仕事を両立でき	自分や家族のケアがわからない	介護費用の見通しがわからない	介護と生活の両立が難しい	その他	特に不安に感じることはない
(単位: %)		n									
TOTAL		213	63.8	47.9	35.2	21.1	19.7	8.9	0.9	17.4	
性 年 齢	男性40-44歳	21	61.9	47.6	33.3	28.6	14.3	9.5	0.0	23.8	
	男性45-49歳	18	50.0	61.1	38.9	11.1	22.2	5.6	0.0	27.8	
	男性50-54歳	23	52.2	47.8	60.9	4.3	30.4	13.0	0.0	26.1	
	男性55-59歳	18	66.7	50.0	50.0	22.2	16.7	0.0	0.0	11.1	
	男性60-64歳	24	33.3	29.2	8.3	16.7	8.3	4.2	4.2	25.0	
	女性40-44歳	21	90.5	52.4	38.1	23.8	28.6	19.0	0.0	4.8	
	女性45-49歳	19	68.4	52.6	31.6	26.3	15.8	21.1	0.0	15.8	
	女性50-54歳	28	71.4	46.4	50.0	35.7	25.0	14.3	0.0	7.1	
	女性55-59歳	26	76.9	50.0	26.9	19.2	15.4	0.0	3.8	11.5	
	女性60-64歳	15	66.7	46.7	6.7	20.0	20.0	0.0	0.0	26.7	

問11 社会保障費が増大する中、今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険のサービスは次のうちどれですか。(回答はいくつでも)

社会保障費が増大する中、今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険のサービスについては、「ホームヘルパー等に家に来てもらい、食事・入浴等の介護を受けるサービス」(46.9%)、「老人ホームに入所して、食事・入浴等の介護を受けるサービス」(41.4%) がともに4割台となっており、在宅、施設ともに充実を求める意見が多くなっています。

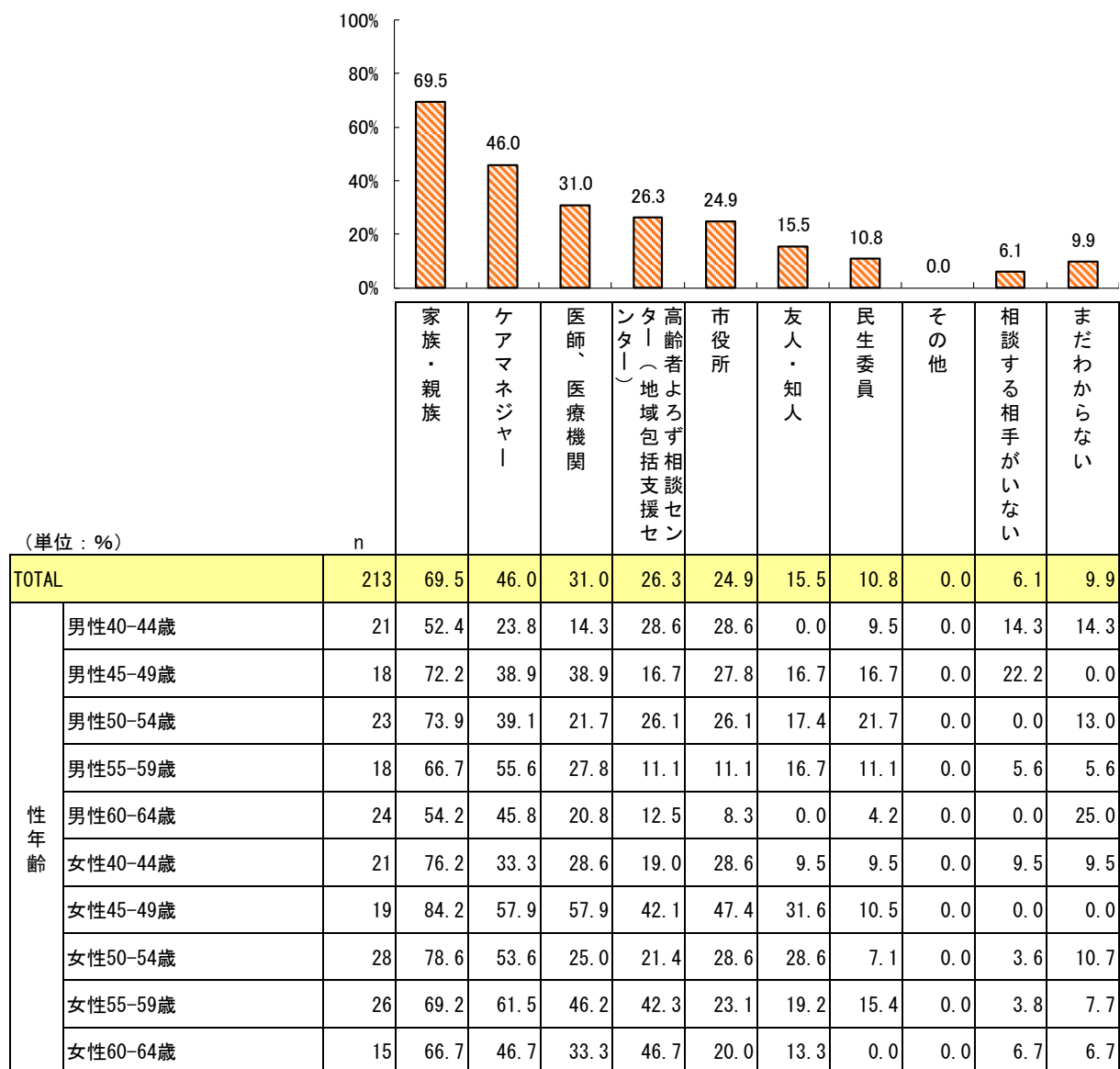
図表 8.10 今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険サービス



問12 あなたは、家族等の介護をするようになった場合、困った時、どなたに協力を頼んだり、相談されたりしますか。(回答はいくつでも)

家族等の介護をするようになった場合、困った時の協力、相談先については、「家族・親族」が69.5%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が46.0%、「医師、医療機関」が31.0%、「高齢者よらず相談センター（地域包括支援センター）」が26.3%の順となっています。

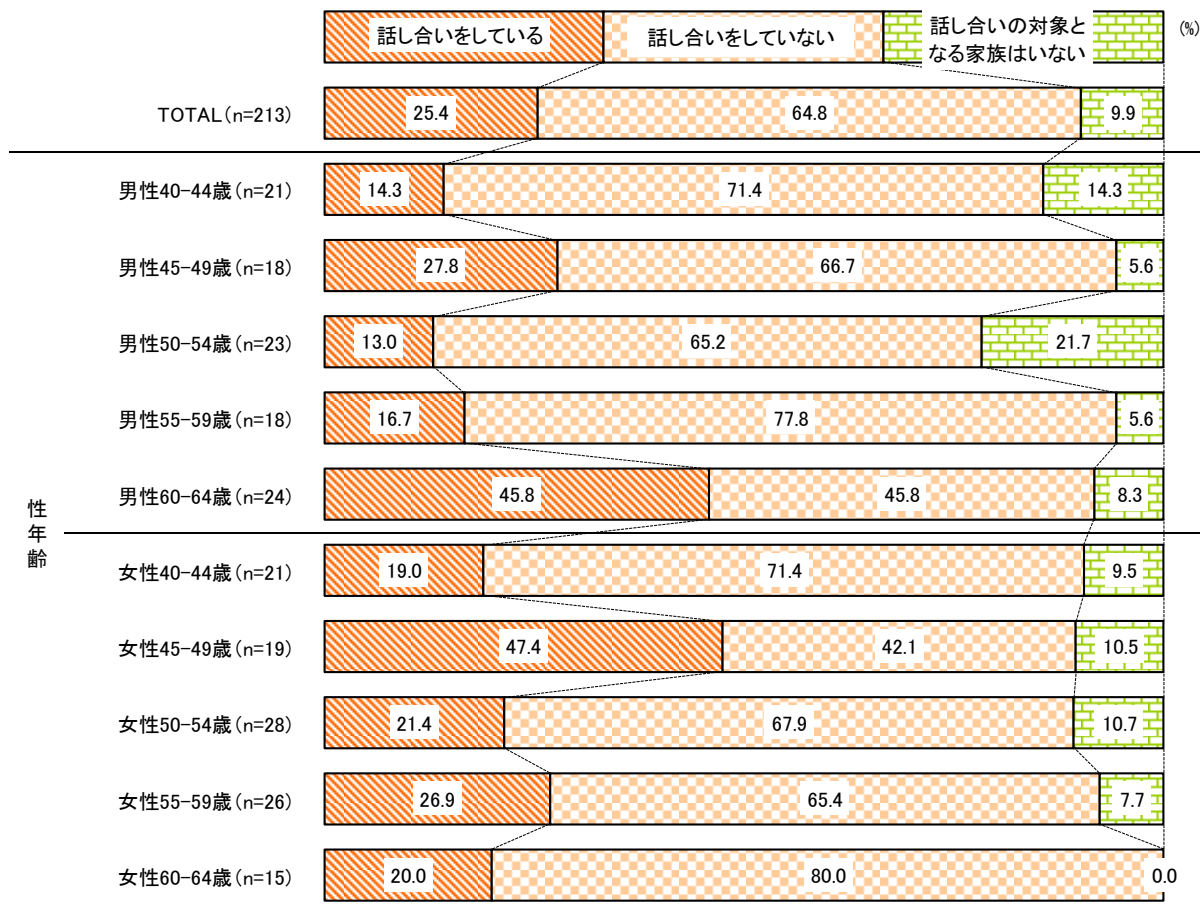
図表 8.11 家族等の介護をするようになった場合、困った時の協力、相談先



問13 あなたは、家族等が望む医療やケアについて家族等と話し合いをしていますか。  
(回答は1つ)

家族等が望む医療やケアについて、家族等と話し合う機会の有無については、「話し合いをしている」が25.4%に対し、「話し合いをしていない」は64.8%となっています。

図表 8.12 家族等が望む医療やケアについて話し合う機会

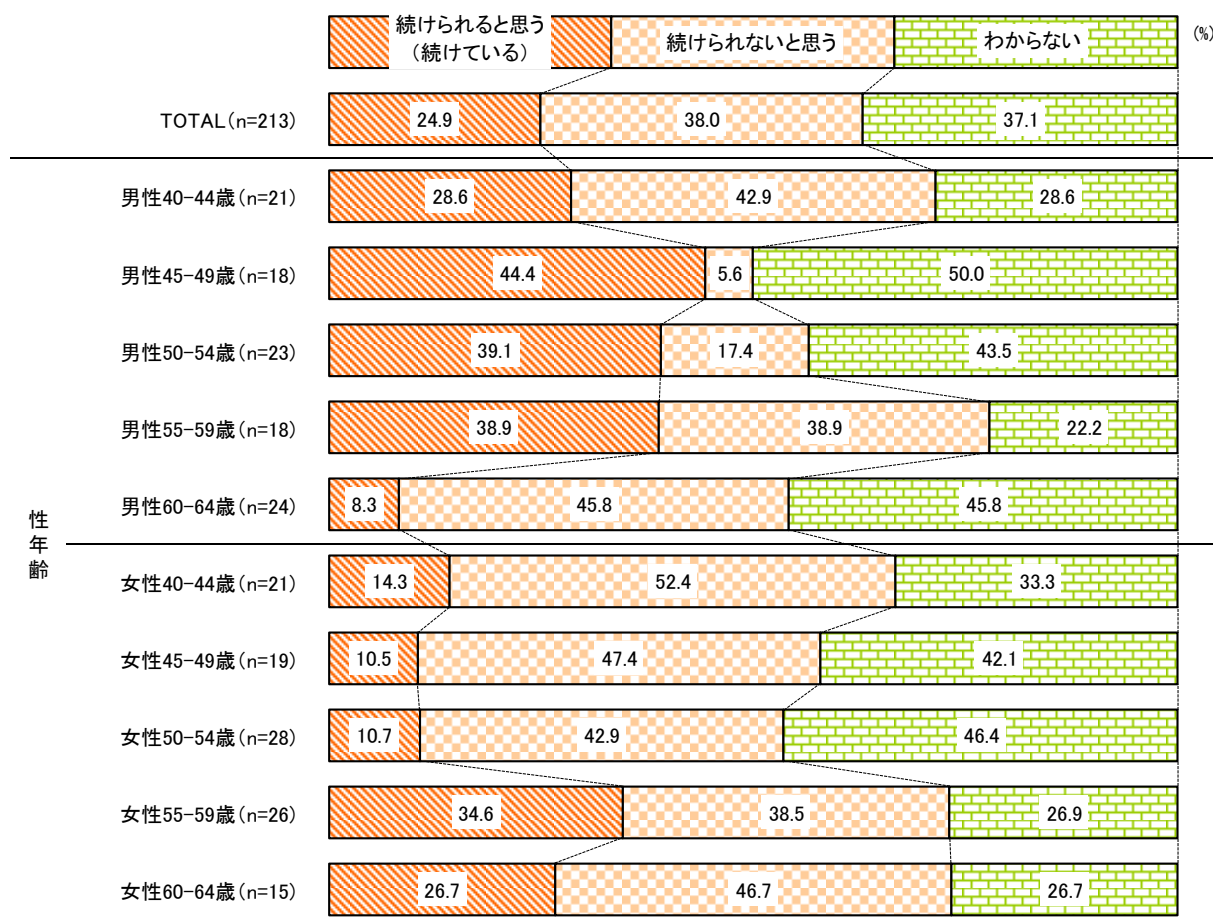


(3) 介護と仕事の両立について

問 14 あなたは、家族等の介護をするようになった場合、仕事を続けることができますか。(回答は1つ)

家族等の介護をするようになった場合の、仕事の継続については、「続けられると思う(続けている)」が24.9%に対し、「続けられないと思う」が38.0%と、介護と仕事の両立が困難であるとする回答が、両立可能とする回答を上回っています。

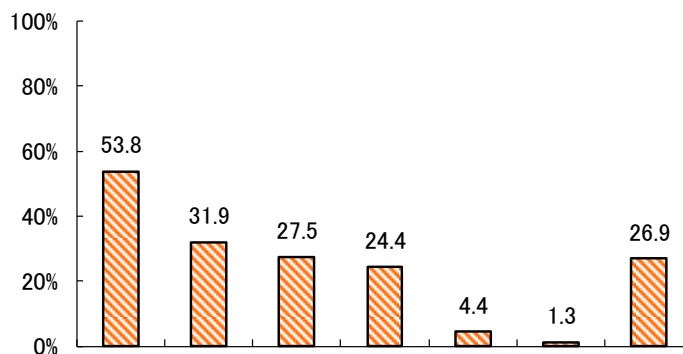
図表 8.13 家族等の介護をするようになった場合の仕事の継続



問15 どのような条件があったら仕事を辞めずに続けられると思いますか。(回答はいくつでも)

仕事を辞めずに続けられるための条件については、「要介護者が施設等に入所し、自宅で介護をする必要がなければ続けられると思う」が53.8%と最も多く、次いで「自宅で介護保険のサービスが受けられれば、仕事を続けられると思う」が31.9%、「ときどき気分転換したり、からだを休ませるなど、自分自身の心とからだをケアできれば続けられると思う」が27.5%の順となっています。

図表 8.14 仕事を続けられるための条件



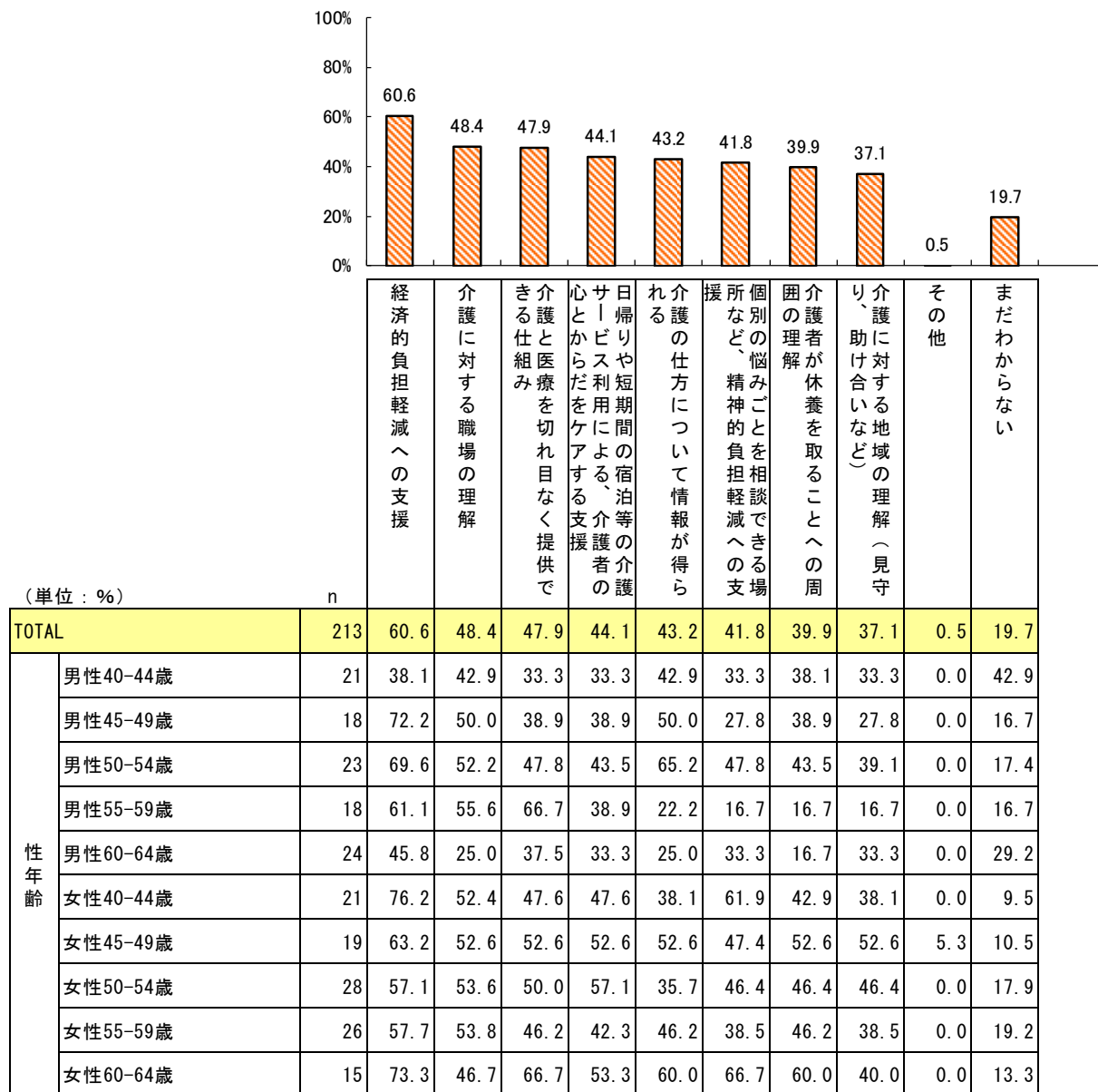
		n	53.8	31.9	27.5	24.4	4.4	1.3	26.9
(単位：%)									
TOTAL		160	53.8	31.9	27.5	24.4	4.4	1.3	26.9
性 年 齢	男性40-44歳	15	33.3	20.0	33.3	26.7	0.0	0.0	53.3
	男性45-49歳	10	70.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	30.0
	男性50-54歳	14	57.1	35.7	42.9	50.0	0.0	0.0	21.4
	男性55-59歳	11	63.6	27.3	0.0	36.4	0.0	0.0	18.2
	男性60-64歳	22	45.5	31.8	18.2	13.6	9.1	0.0	36.4
	女性40-44歳	18	44.4	50.0	33.3	33.3	0.0	5.6	27.8
	女性45-49歳	17	41.2	35.3	23.5	17.6	11.8	0.0	23.5
	女性50-54歳	25	68.0	28.0	28.0	20.0	8.0	4.0	16.0
	女性55-59歳	17	58.8	29.4	41.2	23.5	0.0	0.0	17.6
女性60-64歳	11	63.6	36.4	27.3	18.2	9.1	0.0	27.3	



問 16 あなたは、家族等の介護をするようになった場合、介護者の負担や悩みを和らげるにはどのような理解や支援が必要と思いますか。(回答はいくつでも)

家族等の介護をするようになった場合に介護者の負担や悩みを和らげるために必要な理解や支援については、「経済的負担軽減への支援」が 60.6%で最も多く、次いで「介護に対する職場の理解」が 48.4%、「介護と医療を切れ目なく提供できる仕組み」が 47.9%の順となっています。

図表 8.15 介護者の負担や悩みを和らげるために必要な理解や支援

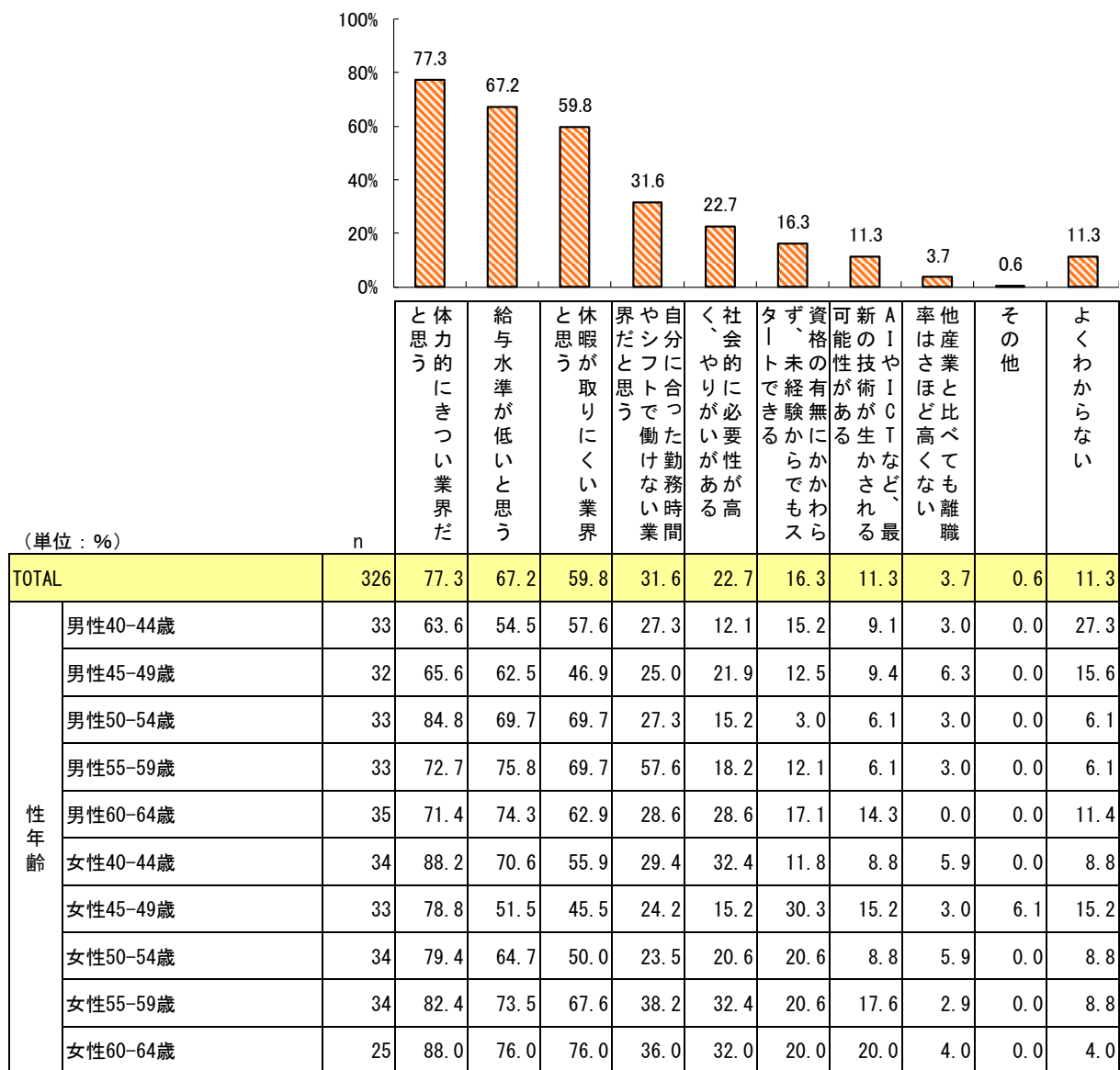


(4) 介護業界について

問17 介護業界に対するイメージはどのようなものですか。(回答はいくつでも)

介護業界のイメージについては、「体力的にきつい業界だと思う」(77.3%)、「給与水準が低いと思う」(67.2%)ともに約7割となっています。次いで、「休暇が取りにくい業界と思う」が59.8%となっています。

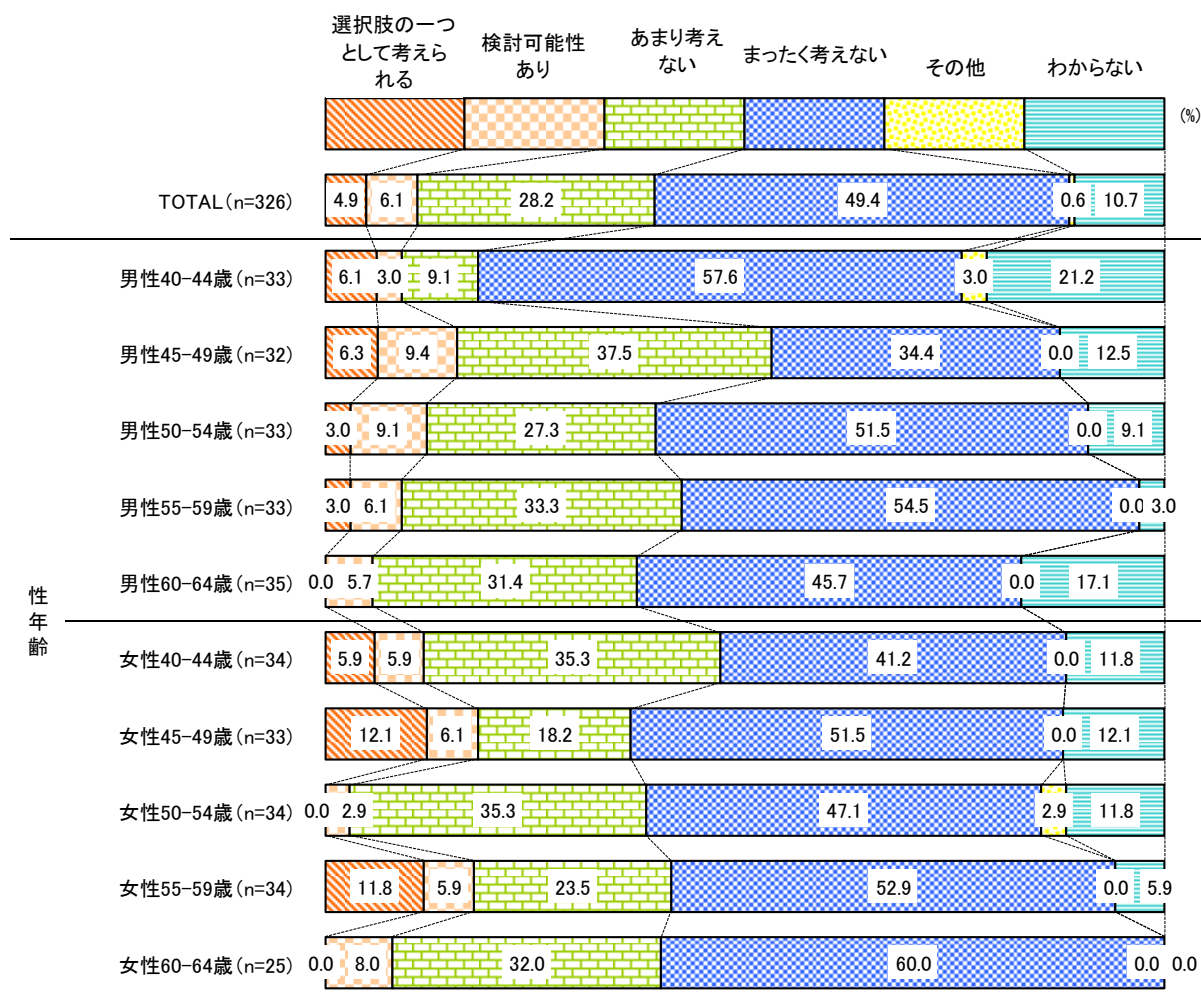
図表 8.16 介護業界のイメージ



問 18 あなたは今後介護業界で働いてみたいと思いますか。(回答は1つ)

介護業界での就労意向については、「選択肢の一つとして考えられる」(4.9%)、「検討可能性あり」(6.1%)を合わせて、就労意向は11.0%となっています。

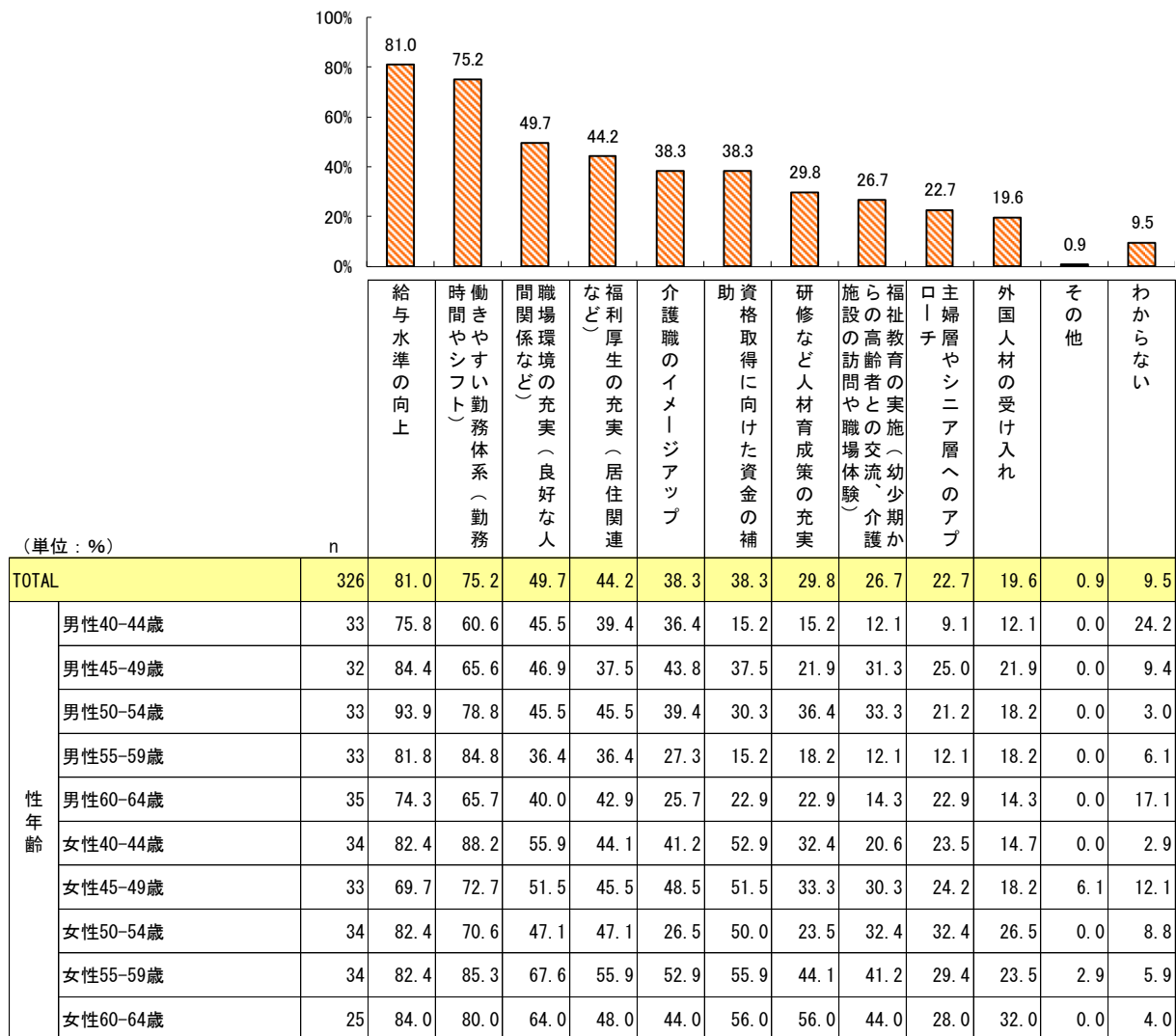
図表 8.17 介護業界での就労意向



問19 介護人材はどうすれば確保できると思いますか。(回答はいくつでも)

介護人材確保の条件等については、「給与水準の向上」が81.0%と最も多く、次いで「働きやすい勤務体系(勤務時間やシフト)」が75.2%、「職場環境の充実(良好な人間関係など)」が49.7%の順となっています。

図表 8.18 介護人材確保の条件等

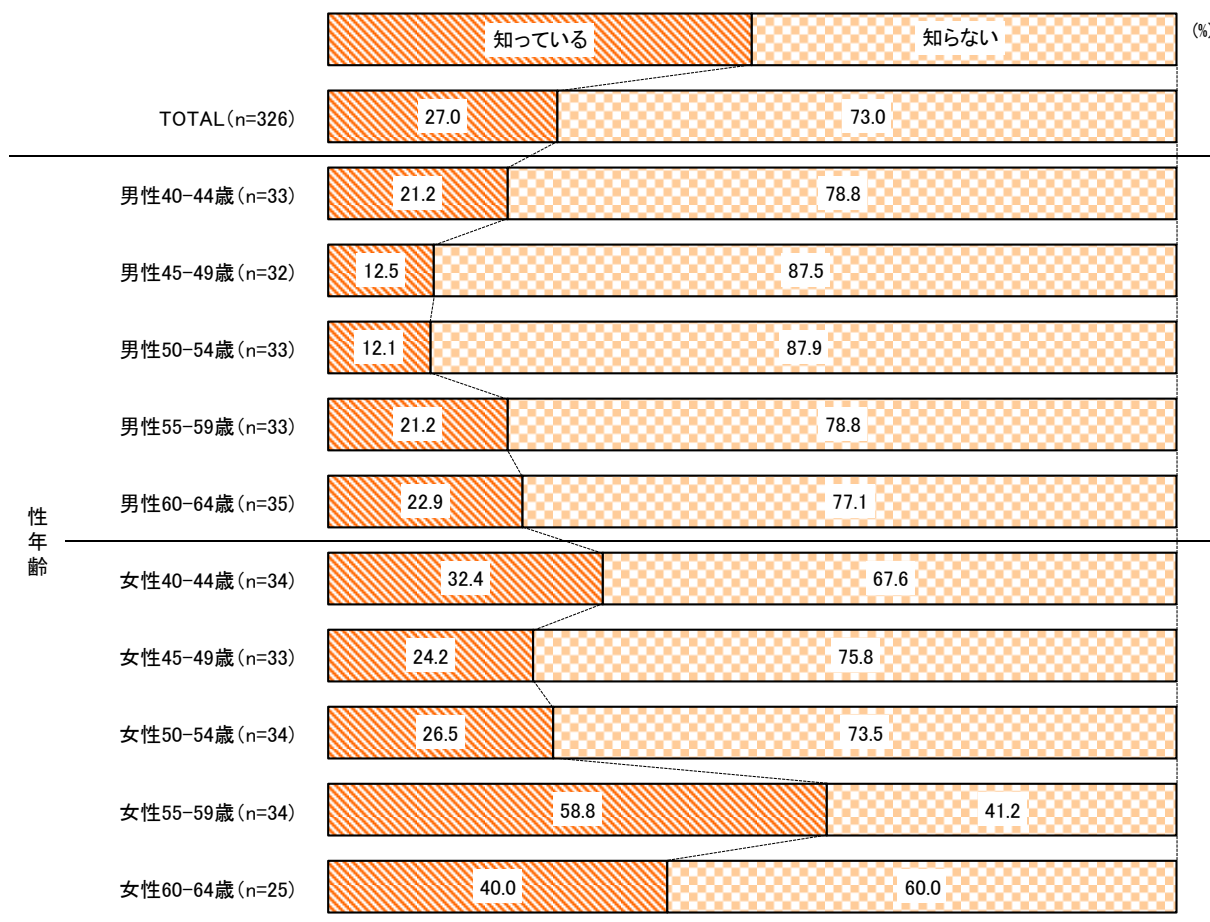


(5) 平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）について

問 20 あなたは、平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）についてどのようなことをご存知ですか。1) 所在

平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）の所在については、「知っている」は27.0%となっています。

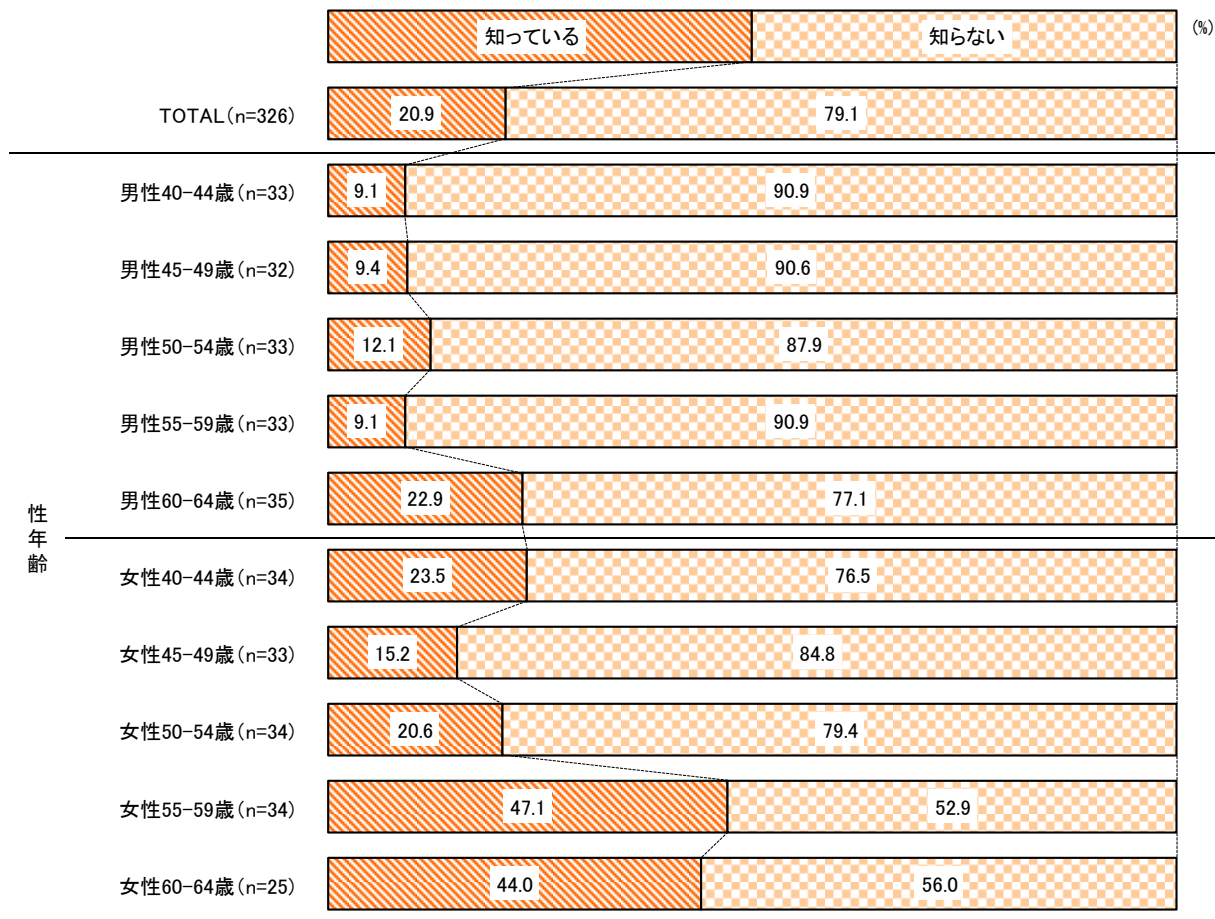
図表 8.19 平塚市高齢者よろず相談センターの所在



問 20 あなたは、平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）についてどのようなことをご存知ですか。2）できること

平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）でできることについては、「知っている」は20.9%となっています。

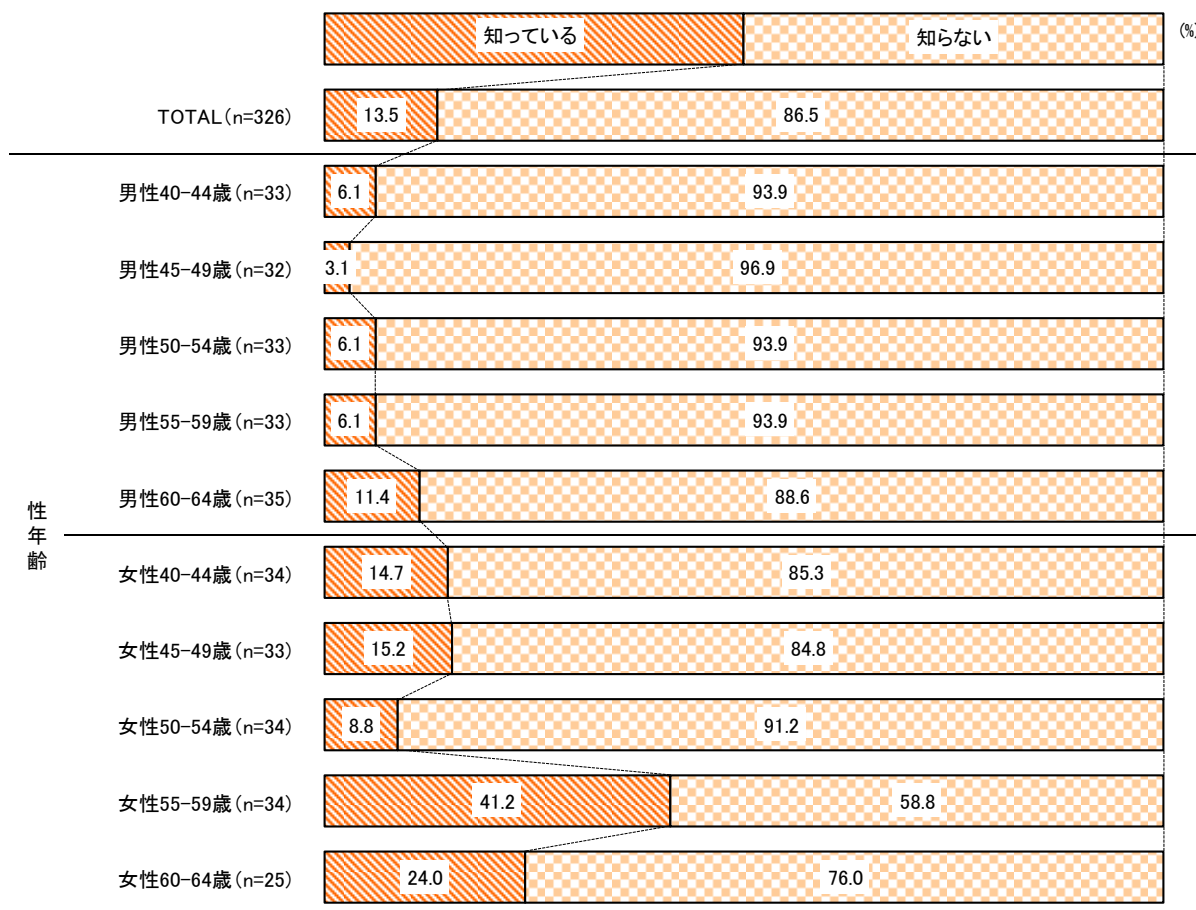
図表 8.20 平塚市高齢者よろず相談センターでできること



問 20 あなたは、平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）についてどのようなことをご存知ですか。3）利用している人

平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）を利用している人については、「知っている」は13.5%となっています。

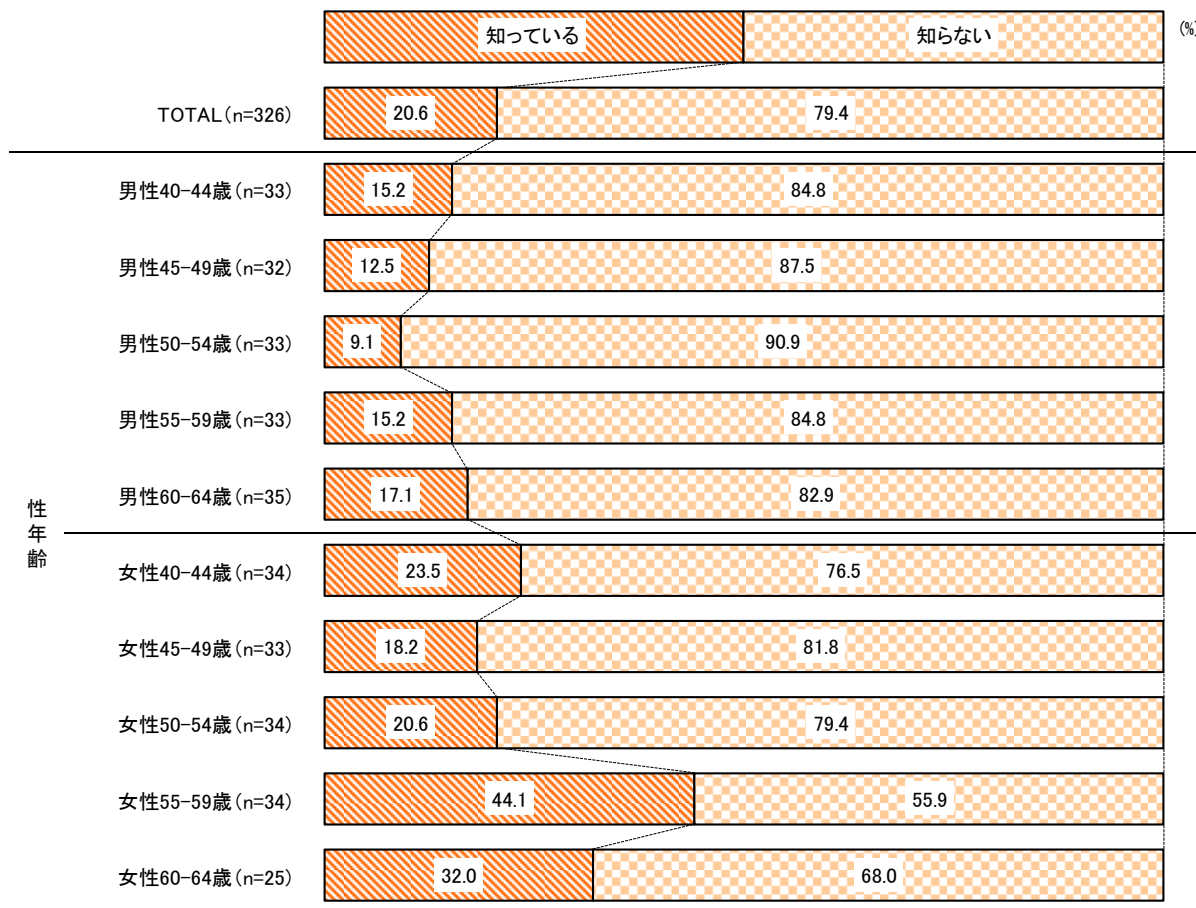
図表 8.21 平塚市高齢者よろず相談センターの利用している人



問 20 あなたは、平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）についてどのようなことをご存知ですか。4）認知症に関する相談の窓口になっていること

平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）が認知症に関する相談の窓口になっていることについては、「知っている」は20.6%となっています。

図表 8.22 平塚市高齢者よろず相談センターの認知症相談窓口としての認知状況

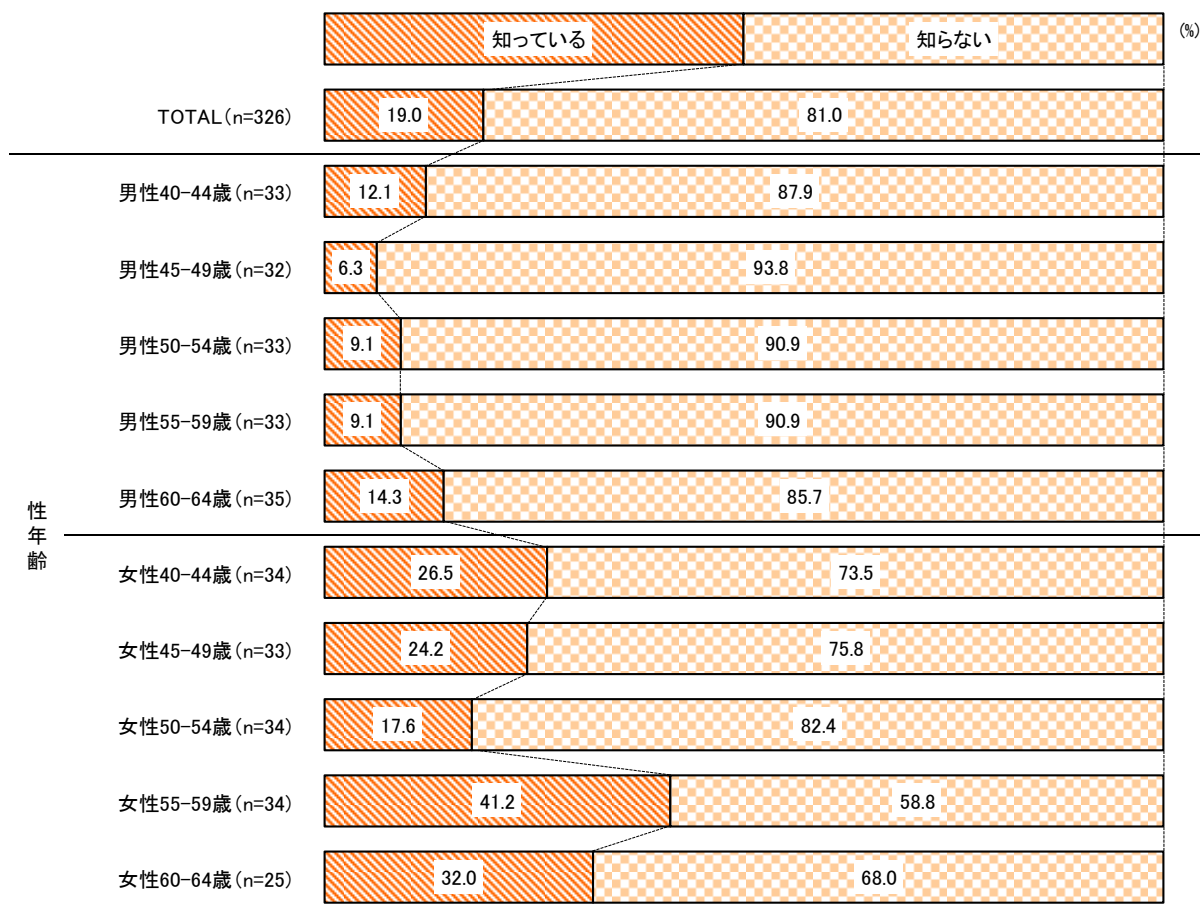




問 20 あなたは、平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）についてどのようなことをご存知ですか。5）高齢者虐待に関する相談や通報の窓口になっていること

平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）が高齢者虐待に関する相談や通報の窓口になっていることについては、「知っている」は19.0%となっています。

図表 8.23 平塚市高齢者よろず相談センターの高齢者虐待に関する相談窓口としての認知状況

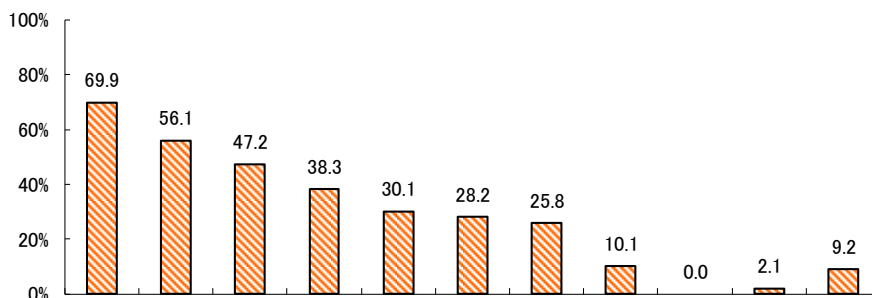


(6) 本人自身が高齢期を迎えることについて

問 21 あなたは、高齢期に備えてどのようなことに取り組むことが大切だと思いますか。  
(回答はいくつでも)

高齢期に備えて大切と思う取組については、「健康維持・体力づくり」が 69.9%で最も多く、次いで「日々の節約、貯蓄」が 56.1%、「長く続けられる趣味・娯楽を始める」が 47.2%の順となっています。

図表 8.24 高齢期に備えて大切と思う取組



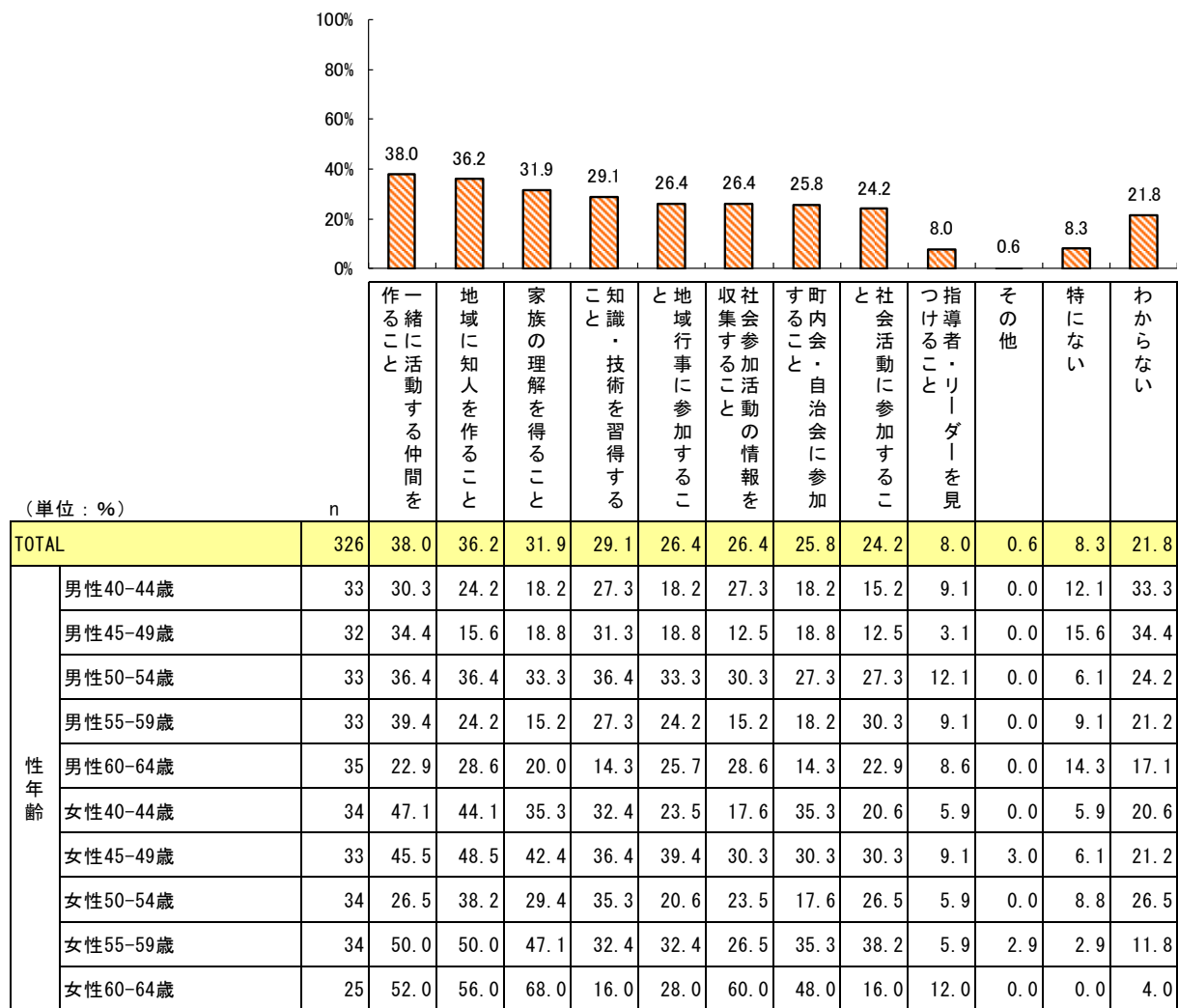
(単位：%)

		n	健康維持・体力づくり	日々の節約、貯蓄	長く続けられる趣味・娯楽を始める	動(勉強、資格取得、就職活動など)	各種資産運用(入、金融商品への投資など)	資産形成(保険商品への加入、拡大・維持)	家族、親せき、知人、近隣などとの付き合いや実際の高年齢期に住む住居の検討	子育て、教育	その他	特にはない	わからない
TOTAL		326	69.9	56.1	47.2	38.3	30.1	28.2	25.8	10.1	0.0	2.1	9.2
性 年 齢	男性40-44歳	33	54.5	42.4	39.4	45.5	21.2	27.3	24.2	3.0	0.0	3.0	24.2
	男性45-49歳	32	68.8	46.9	59.4	50.0	31.3	18.8	21.9	6.3	0.0	3.1	15.6
	男性50-54歳	33	66.7	51.5	39.4	45.5	39.4	33.3	24.2	18.2	0.0	0.0	12.1
	男性55-59歳	33	57.6	48.5	51.5	33.3	39.4	15.2	24.2	0.0	0.0	0.0	12.1
	男性60-64歳	35	74.3	31.4	40.0	28.6	14.3	20.0	14.3	8.6	0.0	5.7	5.7
	女性40-44歳	34	82.4	88.2	58.8	47.1	26.5	35.3	26.5	20.6	0.0	0.0	2.9
	女性45-49歳	33	60.6	60.6	48.5	39.4	42.4	39.4	33.3	15.2	0.0	3.0	9.1
	女性50-54歳	34	70.6	61.8	50.0	38.2	26.5	23.5	29.4	11.8	0.0	2.9	5.9
	女性55-59歳	34	79.4	67.6	41.2	38.2	29.4	38.2	17.6	11.8	0.0	2.9	0.0
女性60-64歳	25	88.0	64.0	44.0	12.0	32.0	32.0	48.0	4.0	0.0	0.0	4.0	

問 22 あなたが、高齢期における社会参加活動をおこなうにあたって、今のうちからどのようなことをすることが必要だと思いますか。(回答はいくつでも)

高齢期における社会参加活動をおこなうための備えとしては、「一緒に活動する仲間を作ること」が38.0%で最も多く、次いで「地域に知人を作ること」が36.2%、「家族の理解を得ること」が31.9%の順となっています。

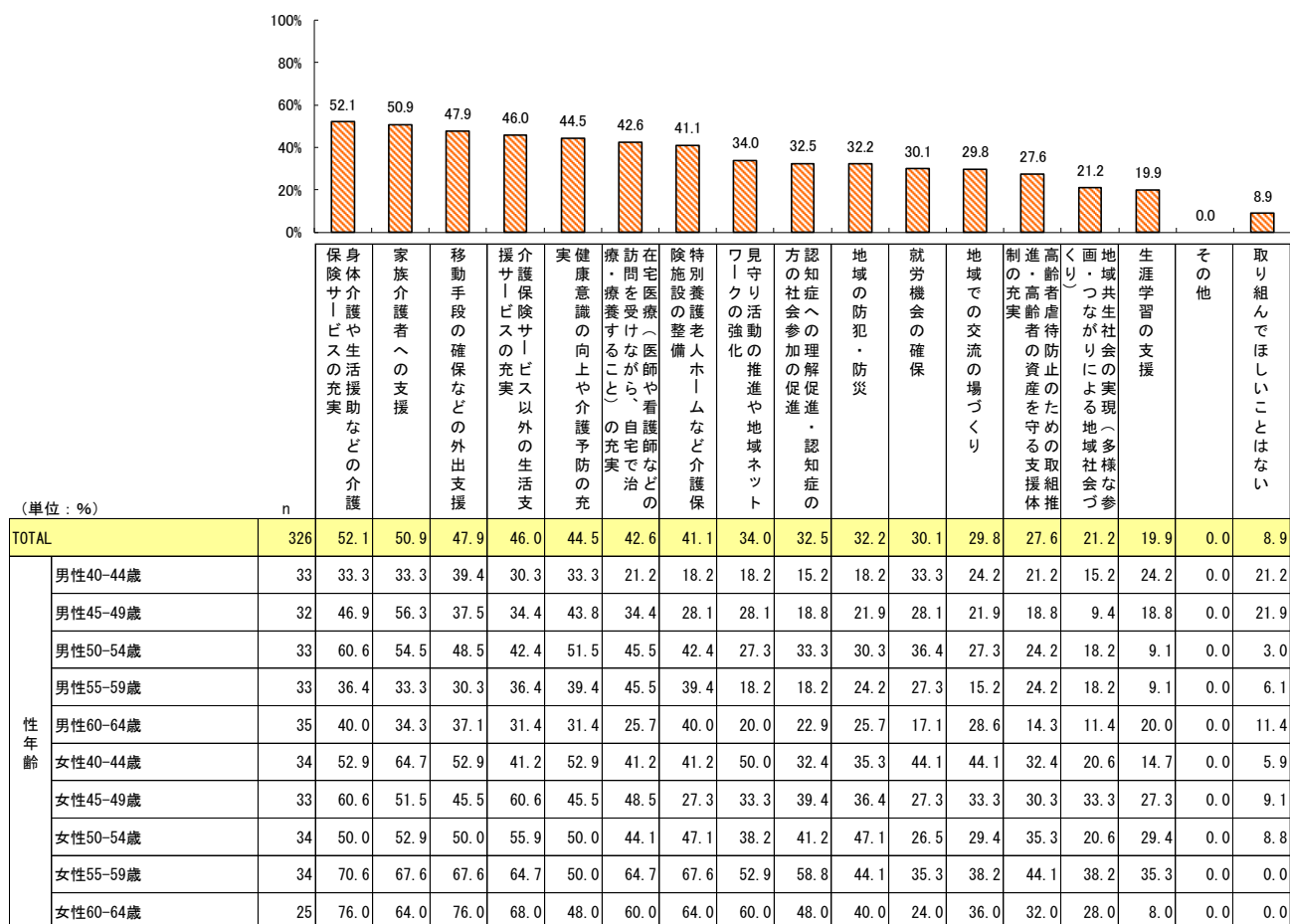
図表 8.25 高齢期における社会参加活動をおこなうための備え



問23 人生100年時代※を迎えるにあたって、自身が高齢者となった際に、市に重点的に取り組んでほしいと考えるものはどのようなことですか。(回答はいくつでも)  
 ※「人生100年時代」とは、100歳まで人生が続くことが当たり前になる時代。学び直しや再就職、社会貢献など、人生の選択肢の多様化が予想される。

人生100年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組むべきことについては、「身体介護や生活援助などの介護保険サービスの充実」(52.1%)、「家族介護者への支援」(50.9%)がともに半数を超えています。次いで、「移動手段の確保などの外出支援」(47.9%)、「介護保険サービス以外の生活支援」(46.0%)の順となっています。

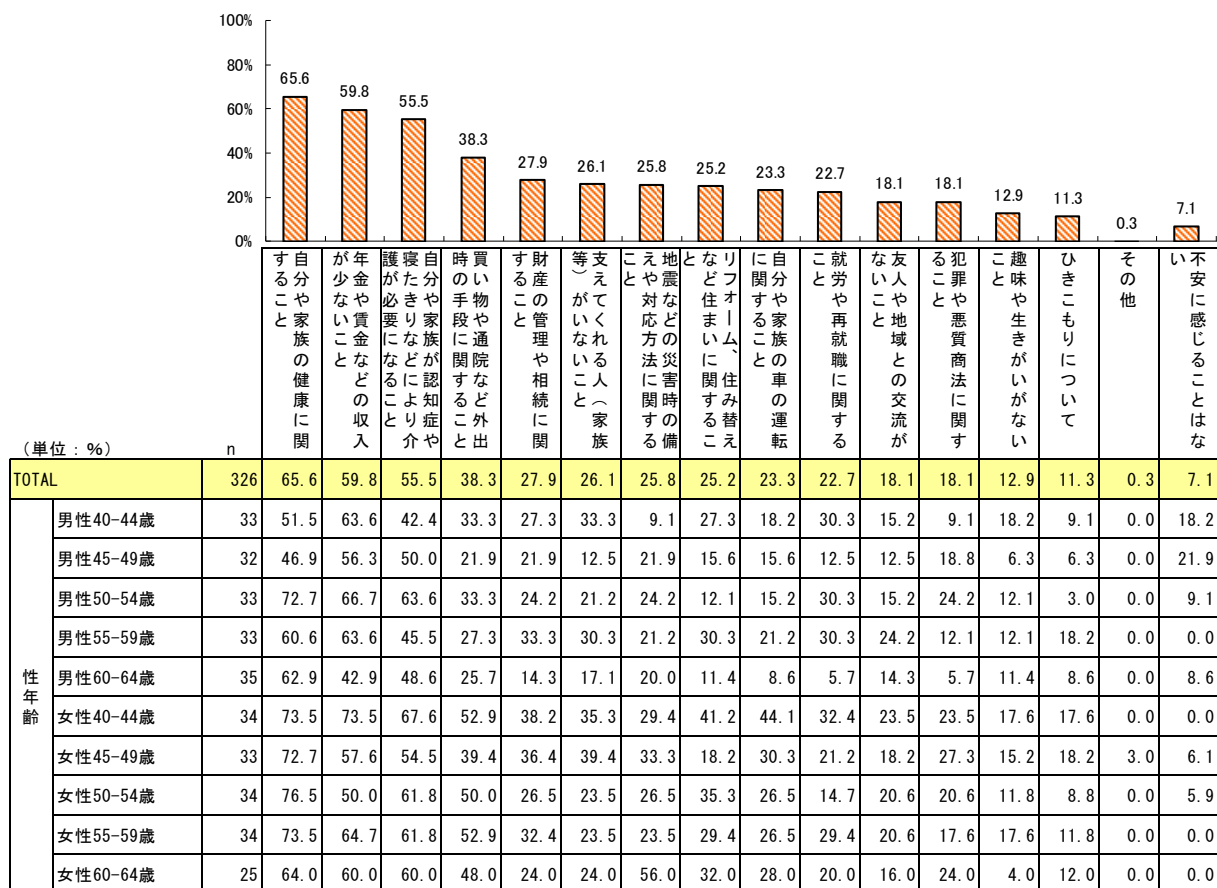
図表 8.26 人生100年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組むべきこと



問 24 あなたは、人生 100 年時代を迎えるにあたって、どのようなことに不安を感じますか。  
 (回答はいくつでも)

人生 100 年時代を迎えるにあたって不安を感じることは、「自分や家族の健康に関すること」が 65.6%で最も多く、次いで「年金や賃金などの収入が少ないこと」(59.8%)、「自分や家族が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」(55.5%) がともに半数を超えています。

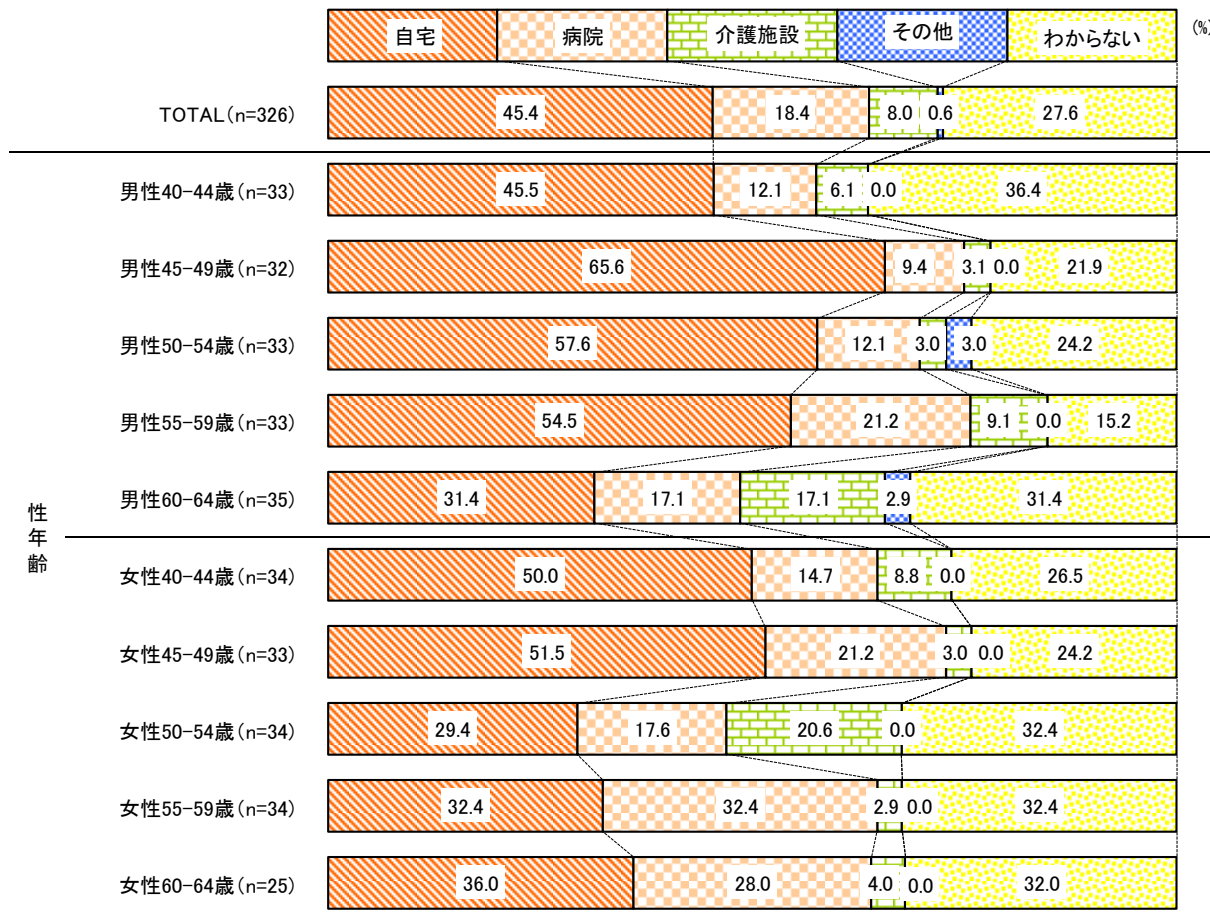
図表 8.27 人生 100 年時代を迎えるにあたって不安を感じること



問 25 あなたは人生の最期を迎える場所として、どこが望ましいと思いますか。(回答は1つ)

人生の最期を迎える場所の希望としては、「自宅」が45.4%と、「病院」(18.4%)、「介護施設」(8.0%)を大きく上回っています。

図表 8.28 人生の最期を迎える場所の希望

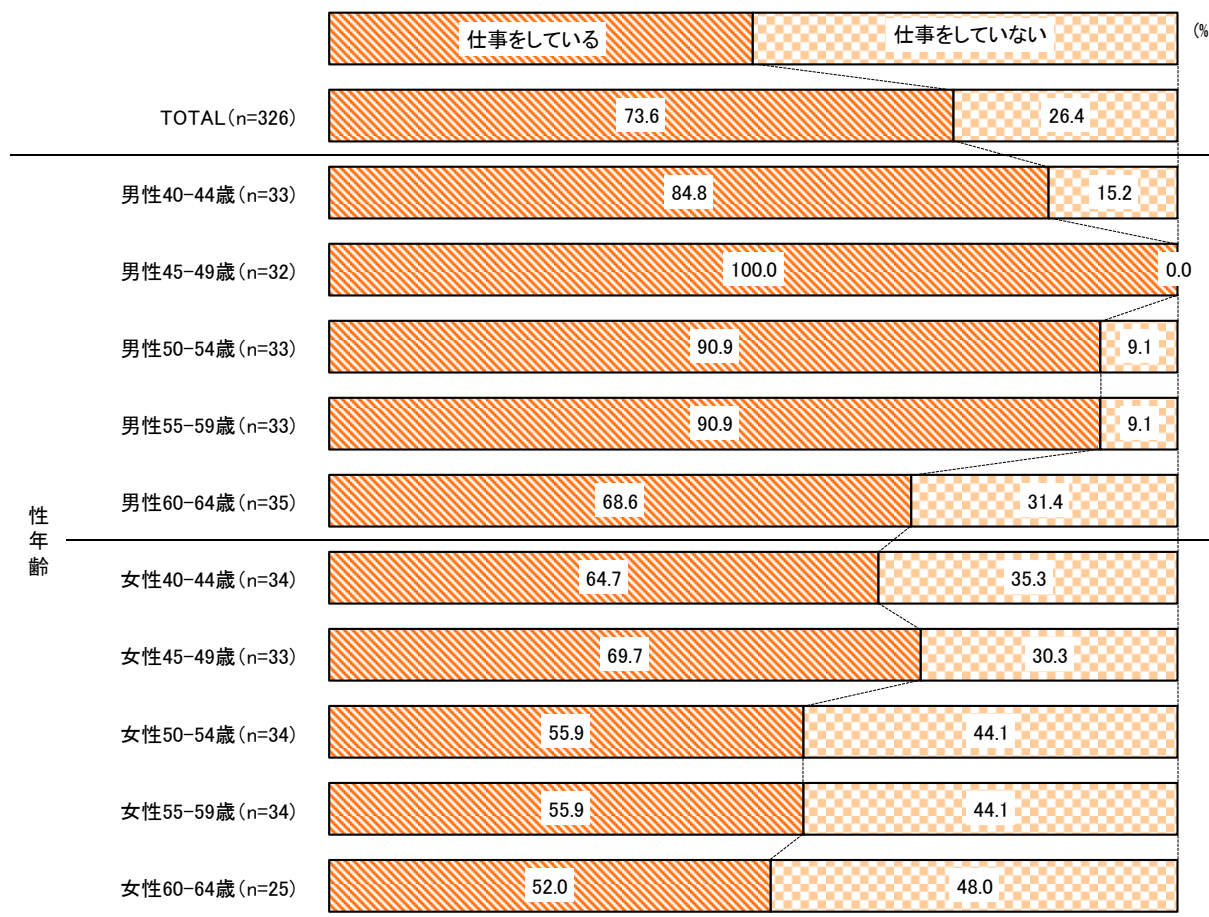


(7) 自身の退職後の暮らしについて

問 26 あなたは現在、仕事をしていますか。派遣・パート・アルバイト、自営業の手伝い、内職なども含めます。(回答は1つ)

現在の就労状況については、「仕事をしている」は73.6%となっています。

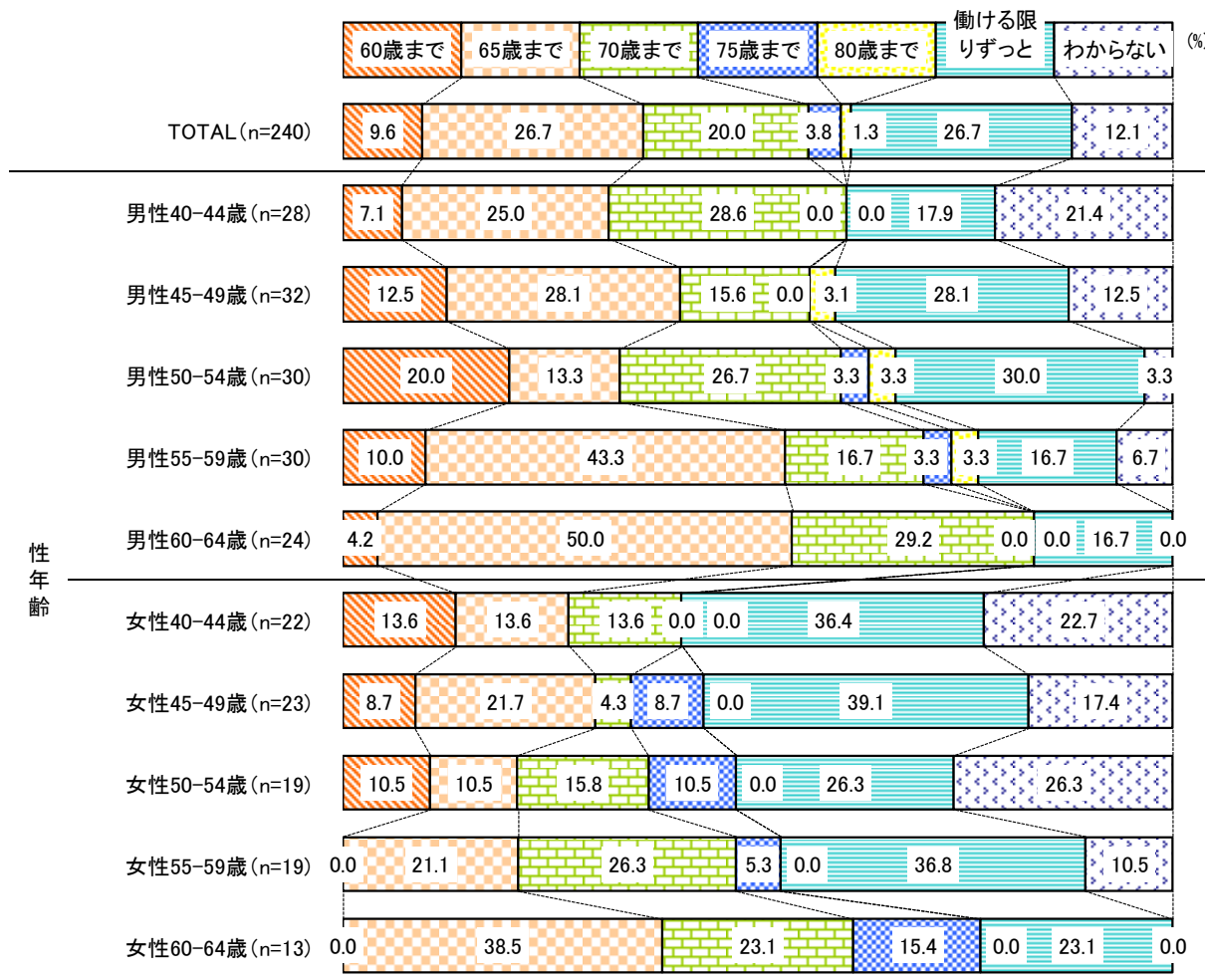
図表 8.29 現在の就労状況



問27 あなたは何歳まで働きたいと思いますか。(回答は1つ)

就労希望年齢については、「65歳まで」が26.7%である一方、「働ける限りずっと」も26.7%と同じ割合となっています。

図表 8.30 就労希望年齢



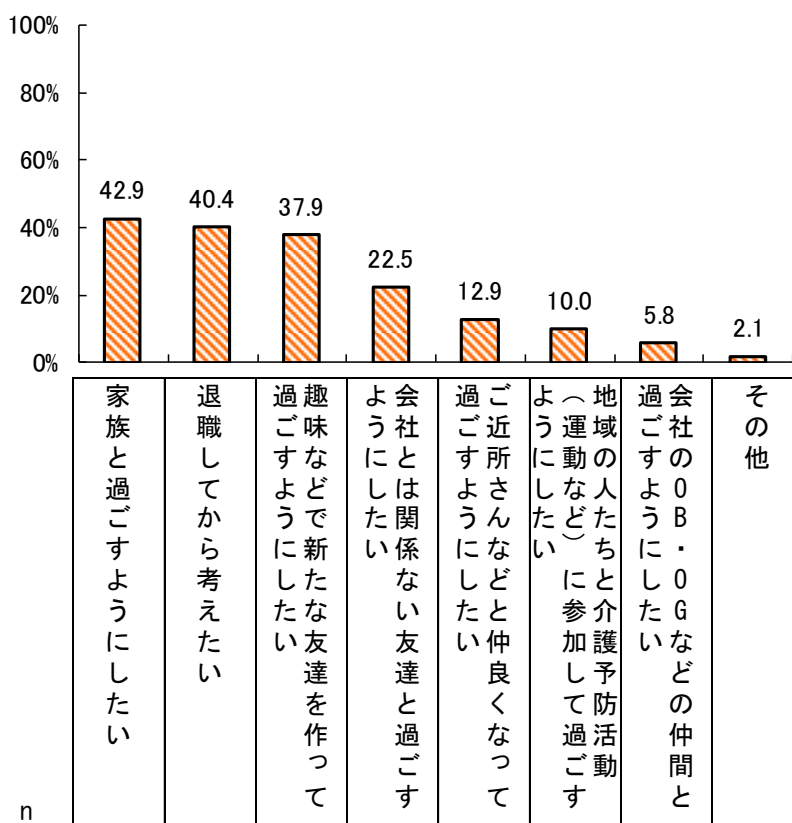


問 28 あなたは退職後の暮らしについてどのようにお考えですか。(回答はいくつでも)

退職後の暮らしについて具体的に考えている中では、「家族と過ごすようにしたい」が 42.9%で最も多く、次いで「趣味などで新たな友達を作って過ごすようにしたい」が 37.9%となっています。

一方、「退職してから考えたい」が 40.4%となっています。

図表 8.31 退職後の暮らし



		(単位：%)	n							
TOTAL		240	42.9	40.4	37.9	22.5	12.9	10.0	5.8	2.1
性 年 齢	男性40-44歳	28	28.6	46.4	28.6	21.4	7.1	10.7	3.6	3.6
	男性45-49歳	32	43.8	37.5	40.6	28.1	18.8	9.4	9.4	0.0
	男性50-54歳	30	50.0	46.7	33.3	23.3	20.0	10.0	3.3	0.0
	男性55-59歳	30	40.0	43.3	40.0	20.0	13.3	6.7	13.3	0.0
	男性60-64歳	24	50.0	25.0	29.2	25.0	12.5	8.3	4.2	0.0
	女性40-44歳	22	45.5	40.9	45.5	9.1	22.7	22.7	0.0	0.0
	女性45-49歳	23	43.5	56.5	30.4	17.4	13.0	4.3	13.0	4.3
	女性50-54歳	19	26.3	26.3	42.1	21.1	5.3	15.8	0.0	10.5
	女性55-59歳	19	42.1	42.1	42.1	31.6	5.3	5.3	5.3	5.3
女性60-64歳	13	69.2	30.8	61.5	30.8	0.0	7.7	0.0	0.0	

問29 あなたは退職後は、お住まいの地域の集まりや地域活動に参加されますか。(回答は1つ)

退職後の地域の集まりや地域活動への参加については、『参加したい』(「ぜひ参加したい」「誘われたら参加したい」の合計)は40.5%、『参加したくない』(「あまり参加したくない」「参加したくない」の合計)は32.5%と、参加意向が上回っています。

参加意向の内訳では、「ぜひ参加したい」が6.7%、「誘われたら参加したい」が33.8%となっています。

図表 8.32 退職後の地域の集まりや地域活動への参加

